

A Phonetic Analysis of the Choswateng [Chuiyading] Tibetan Spoken in Shangri-La County and a Wordlist : with Reference to Dialectal Variations within the rGyalthang Subgroup

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-08-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 博之 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00003815

資料

カムチベット語香格里拉県小中甸郷吹亞頂 [Choswateng] 方言の
音声分析と語彙
——rGyalthang 下位方言群における方言差異に関する考察を添えて——

鈴木博之*

A Phonetic Analysis of the Choswateng [Chuiyading] Tibetan Spoken in
Shangri-La County and a Wordlist: with Reference to Dialectal Variations within
the rGyalthang Subgroup

Hiroyuki Suzuki

本稿では、中国雲南省迪慶族自治州香格里拉県小中甸郷南部に位置する吹亞頂村において話されるカムチベット語 Choswateng 方言について、チベット言語学の方法論を参考に共時的な音声分析を行い、次いでチベット文語形式（藏文）との対応関係を明らかにする。加えて、これらの記述と周辺地域で話される同一下位方言群に属する諸方言を対照することで、Choswateng 方言の方言特徴を明らかにする。末尾に語彙リスト（約 1,800 語）を付す。

カムチベット語方言 Sems-kyi-nyila（香格里拉）方言群 rGyalthang（建塘）下位方言群に属する諸方言は、香格里拉県建塘鎮を中心に分布する。これらの諸方言間には、その音体系に大きな差異が認められ、特に小中甸郷に分布する方言は村ごとに特徴的な異なりが存在する。本稿で記述・分析する Choswateng 方言は、その中でももっとも複雑な音体系をもつ方言の 1 つである。その複雑さは子音体系において前部硬口蓋系列と硬口蓋系列が体系的に対立することに集約され、藏文との対応関係の分析に基づくと、この複雑な音体系が rGyalthang 下位方言群のより古い層を反映しているといえる。

* 国立民族学博物館外来研究員

Key Words : Tibetan, Diqing Prefecture, phonetics, dialectology, dialect classification
キーワード：チベット語、迪慶州、音声学、方言学、方言分類

This paper presents a phonetic description of Choswateng Tibetan, a dialect spoken in Chuiyading Hamlet in the southern area of Xiaozhongdian Village, Xianggelila County, Diqing Tibetan Autonomous Prefecture, Yunnan, China, as well as its sound correspondences with Written Tibetan (WrT), using the traditional methods of Tibetan dialectology. Additionally, the dialectal characteristics of Choswateng Tibetan within the rGyalthang subgroup are discussed. At the end of the article, a wordlist (ca. 1,800 words) of Choswateng Tibetan is provided.

Choswateng Tibetan belongs to the rGyalthang subgroup of the Sems-kyi-nyila dialect group of Khams Tibetan, spoken in the central area of Xianggelila County. The dialects of this subgroup show great variety in their phonetic and phonological aspects, and those spoken in Xiaozhongdian Village have complicated characteristics. Choswateng Tibetan is one of the dialects with the most complex phonological systems, including a systematic contrast between prepalatals and palatals. An analysis of a comparison between its sounds and those of WrT shows that the complex phonological system of Choswateng Tibetan reflects the most archaic phonology among the dialects of the rGyalthang subgroup.

1 はじめに	3.1 初頭子音
2 Choswateng 方言の音声分析	3.2 母音および母音+末子音
2.1 音体系の素描	4 方言比較から見る Choswateng 方言の方言特徴
2.2 超分節音	4.1 議論の対象
2.3 母音	4.2 データの提示
2.4 子音	4.3 考察
3 Choswateng 方言の藏文との対応関係	5 まとめ

1 はじめに

雲南省北西部の一角、迪慶 [bDe-chen] 藏族自治州はチベット語が地理的に連続し地域の主言語として分布する地域の南東端に当たり、チベット文化圏とナシ、リスなど他の文化圏との接触地域にあたる。この地域はチベットの伝統的地域区分でカムと呼ばれる地域の南東端でもあり、同地域に分布するチベット語はカムチベット語の変種であると広く認識されている。Suzuki (2013b) において提示した迪慶州を含む雲南省に分布する諸方言の音特徴・相通性を主たる基準とした分類案は次のようである。

表 1 Suzuki (2013b) による雲南省カムチベット語の方言分類

方言区分	下位方言区分	所属方言例 (迪慶州外の方言には*を付す)
Sems-kyi-nyila 香格里拉	rGyalthang	rGyalthang [建塘], rGyalbde [吉迪], Yangthang [小中甸], sKadgrag [格咱]
	雲嶺山脈東部	Nyishe [尼西], Thoteng [拖頂], Byagzhol [霞若], Semzong [石茸], Qidzong [其宗], mBacug [巴珠]
	Melung	Melung [維西], mThachu [塔城], sKobsteng [格登], Zhollam [勺洛], Daan [大安]*
	Phuri	Phuri [普上]
	Lamdo	Lamdo [浪都]
sDerong-nJol 得榮德欽	雲嶺山脈西部	Foshan [佛山], nJol [德欽], lCagspel [佳碧], Tsharethong [查里通], sNyingthong [尼通], Sakar [斯嘎], Budy [巴迪]
	mBalhag	mBalhag [巴拉]
	sPomtserag	sPomtserag [奔子欄]
	Bodgrong	Bodgrong [丙中洛]*
	gYagrwa	gYagrwa [羊拉]
Chaphreng 郷城	gTorwarong	gTorwarong [東旺], dBangshod [翁水], Nagskerag [納格拉]

本稿で扱う Choswateng 方言は、Sems-kyi-nyila (香格里拉) 方言群 rGyalthang (建塘) 下位方言群に属する。1950 年代に中国で行われた少数民族言語調査において、この下位方言群の変種が調査されたと見られ (Zhang 1996), その資料は金鵬 主編 (1983), 張濟川 (1993) などと言及されている。Sems-kyi-nyila 方言群の先行研究を見るならば、rGyalthang 下位方言群の記述に関する先行研究が最も多い (陸紹尊 1990; Hongladarom 1996; 2000; 2007ab; Wang 1996; 《雲南省誌》1998:421–441; 蘇郎甲楚 2007; 王曉松 2008 など) が、いずれも現在の行政区分において建塘鎮に属する地域で話される rGyalthang 方言の研究であり、それ以外の方言に関する研究は少ない。筆者による Sems-kyi-nyila 方言群の諸方言に関する研究には鈴木 (2008b; 2009b; 2010bc; 2011abc; 2012a; 2013ab), Suzuki (2011; 2012; 2013b), 鈴木・ツェリ・ツォモ (2007) などがある。上表には Yangthang (小中甸) という名称の方言を挙げているが、これは小中甸 [Yang-thang] 郷で話される諸方言のことを指すものとして用いてきたものである。ところが、同郷で話される諸方言は自然村ごとに一定のかつ大きな差異が認められるということが筆者の最近の調査によって判明した。その概要は鈴木 (2012a) および Suzuki (2013b) で提供している。

本稿で記述するのは香格里拉 [Sems kyi Nyi-zla] 県小中甸郷の南部に位置する和平行政村吹亞頂 [Chos-ba-steng] 自然村 (「區哇迪」と書かれることもある) で話される Choswateng 方言である。この地域は上述の先行研究が rGyalthang 方言と呼んで記述する変種が話される地域から見て、もっとも遠い地域で話される変種の 1 つである。小中甸郷の方言の記述としては、鈴木 (2011c) の聯合村吉念批自然村の Gyennyemphel (吉念批) 方言のものがある。Choswateng 方言については、Suzuki (2013b) が部分的な語彙資料に言及している程度で、まとまった記述はまだ行われていない。

本稿では Choswateng 方言について、鈴木 (2011c; 2012b) などと同様に音声記述を行い、それに加えて語彙資料 (約 1,800 語) を提供する。チベット言語学の方法論による音声記述には、共時的音声分析とともに、その分析結果とチベット語文語形式 (以下「藏文」) との対照を通じて主要な音対応を示すことが含まれる。音声分析については、音素の記述を目指すものの最小対を形成する例が非常に少ないため、厳密な音素分析にはなっていない。音表記は Tournadre & Suzuki (forthcoming) に言及される *pan-dialectal phonetic description* に基づき、国際音声字母 (IPA) で規定されるもののほか、朱曉農 (2010) で明確に定義される主に中国で使用されている音声記号も断りなく用いる。藏文との対照については、瞿靄堂・金效静 (1981) や西 (1986) など多くの先行研究にならい、チベット言語学で最も重要視される点に絞った記述を提供する。加えて、rGyalthang 下位方言群の複数の方言資料が取り扱える状況にあることから、Choswateng 方言の音

組織が同下位方言群の中でどのような位置づけをもっているのか、最も明確に差異が反映される点に絞って検討し、方言差異を明らかにすることで、今後の方言研究に資する。

Choswateng 方言の調査に関しては、筆者はまず昆明で友人を通じて吹亞頂村出身者の紹介を受け、調査を行った。調査協力者は 20 代女性である。調査では主に漢語を用いて Choswateng 方言の語彙形式を聞き取り、記録した。語彙調査の際に参考にしたのは華侃 主編 (2002) および趙燕珍 (2012) に含まれる語彙リストである。本稿末の語彙リストは前者の調査記録に基づいている。

本稿の構成

本稿では、まず Choswateng 方言の音声分析を通して音体系の全体像を見る (2 節)。次に、得られた口語形式と蔵文との対応関係を明らかにする (3 節)。その後、その対応関係を rGyalthang 下位方言群に属する諸方言の事例と対比し、Choswateng 方言の方言特徴を明らかにする (4 節)。末尾に語彙リストを付す。

2 Choswateng 方言の音声分析

2.1 音体系の素描

まず Choswateng 方言の音体系全体について、超分節音、母音、子音、音節構造の順に紹介する。

超分節音

4 種の声調パターンの対立が認められ、それぞれ語を単位としてかかる。

ˉ : 高平 ˊ : 上昇 ˋ : 下降 ˆ : 上昇下降

母音

長短および鼻母音/非鼻母音の対立が存在するものがある。

ɪ-ɪ	i	ɯ	ɯ	u
e	ə	ə	o	
ɛ			ɔ	
a			ɑ	

子音

音節構造の主子音 (C_i) 位置に現れる要素の一覧は以下のようである。

		両唇	歯茎	そり舌	硬口蓋	軟口蓋	声門
					前	後	
閉鎖音	無声有気	p ^h	t ^h	t ^h	c ^h	k ^h	
	無声無気	p	t	t	c	k	ʔ
	有声	b	d	d	ɟ	g	
破擦音	無声有気		ts ^h	tʂ ^h	tɕ ^h		
	無声無気		ts	tʂ	tɕ		
	有声		dz	dʒ	dʑ		
摩擦音	無声有気		s ^h	ʃ ^h	ɕ ^h	ç ^h	x ^h
	無声無気		s	ʃ	ɕ	ç	x
	有声		z	ʒ	ʑ	ʝ	ɸ
鼻音	有声	m	n	ɳ	ɲ	ŋ	
	無声	ᵐ	ᵑ		ᵑ̚	ᵑ̚	
流音	有声		l	r			
	無声		ɭ	ɻ			
半母音	有声	w				j	

音節構造

音節構造は、鈴木 (2005) を参照して以下のように記述できる。

^CC_iGVCC および CC_iGVCC

このうち C_i (主子音) と V (音節核の母音) が必須である。

最初頭子音 ^C は前鼻音, 前気音の 2 種のみが現れる。わたり音 G には/w, j/がある。よって最大の初頭子音群の構造は 3 子音連続となる。なお, 本稿ではわたり音という用語を音節構造上の G を指すものとして用いる。

最初頭子音に鼻音を含む音節についてのみ, その鼻音要素の発音の仕方から, ^CC_i と CC_i に分けられ, 後者の方が鼻音要素の調音時間が長い。

末子音には単子音に/?̚, j/, 複子音に/jʔ/がある。

2.2 超分節音

Choswateng 方言の超分節音は、ピッチの高低による対立で実現され、高平調、上昇調、下降調、上昇下降調の4種に分かれる。弁別的なのは現れるピッチの高さ（調値）ではなく、平板か上昇もしくは下降などの型（調類）である。声調は原則的に語単位（より正確には音韻語単位）でかかる語声調として現れるため、複音節語ではそれぞれの音節が独自の声調を担うことはない。3音節以上の語の場合、第1、第2音節までで弁別的な声調の型を形成し、第3音節以降は^[22]程度の高さで現れ、弁別的に作用しない。ただし、語によっては第3音節（および第4音節）が独自の声調パターンを担うものもある。

以下に、語の音節別の調値を5段階で表示した例をあげる。Sは音節を意味する。初頭子音の性質によって具体的な調値に若干の差異が生まれるが、弁別的ではない。なお、声調のみの異なりですべての調類にわたって対立を形成する例はほとんど認められない。

表2 声調パターンと調値の例

	高平調	上昇調	下降調	上昇下降調
1音節語	˦nə [S ⁵⁵] 「人」	˦na: [S ²⁴] 「裸麦」	˦nɑʔ [S ⁵³] 「膿」	˦nur: [S ¹³²] 「一晚」
2音節語	˦na zɰə [S ⁵⁵ S ⁵⁵] 「耳」	˦ne: wa [S ¹³ S ⁵⁵] 「病人」	˦nə ɕʰɑʔ [S ⁵⁵ S ²²] 「女」	˦nō ɕʰuʔ [S ¹² S ³¹] 「西」

2.3 母音

母音には長短および鼻母音/非鼻母音が弁別的である。母音の長短と鼻母音/非鼻母音は互いに独立しているため、計4種の対立が認められる。ただし、全ての舌位置について4種の対立が認められるわけではない。特に長鼻母音は出現に制限が見られ、語例もきわめて限定的である。

母音の表記は、実際の舌位置に最も近い音標文字を用い、補助記号は用いない。母音の性質上、音環境によって舌位置に変動が認められるが、本稿ではその記述を省略する。

摩擦性母音*ɥ-ʋ*はそれぞれ先行子音によって相補分布し、1音素である。ただし両者の調音方法に明確な異なりがあるため、表記の抽象化を避け、書き分ける。この措置は Choswateng 方言に関連する言語としては王曉松 (2008) の rGyalthang 方言の記述に適用されているほか、漢語北京方言（または普通話）の記述でも一般的に行われており、朱曉農 (2010: 307, 310) でも踏襲されている¹⁾。相補分布の条件は次のとおり。[ɥ] はそり舌音に後続し、[ʋ] はそれ以外の子音に後続する。また、この音素の音声実現はしばしば強い咽頭化を伴う ([ɥ^ʔ, ʋ^ʔ])。長母音として現れる例がほとんどである。

「短母音+声門閉鎖音*ʔ*」の組み合わせは、語（形態素）によって語中において長母音と交替することがある。現段階では規則的な音交替ということはできないため、実際の発音に基づいて記述する。

以下、非鼻母音と鼻母音に分けて、その長短の具体例を並列して掲げる（表 3, 4）。互いに近い舌位置において（疑似）最小対が認められる場合には、それらを含める形で例示する。現段階では、すべての母音の舌位置が対立することを示す（疑似）最小対は見いだせていない。

2.3.1 非鼻母音

*ɥ-ʋ*については、[ɥ] で発音されるものと [ʋ] で発音されるものの 2 通りあげる。

表 3 非鼻母音の例

	短母音例		長母音例	
i	ʔɥ ^h iʔ	しらみ	ʔtɥ ^h i: zɪʔ	ついたち
e	ʔɥ ^h eʔ	半分	ʔne: wa	病人
ɛ	ʔlo kɛʔ	監獄	ʔkō ʔnɛ:	価格が高い
a	ʔɥ ^h a mō	瓜	ʔna:	裸麦
ɑ	ʔp ^h ɑʔ	ぶた	ʔna: ^h gō	暗い
ɔ	ʔso ^h sɔʔ	薄い	- ^h nɔ: nə	あさって
o	ʔs ^h o lʃə	のこぎり	ʔno: ^h bu	宝石
u	ʔs ^h u duʔ	指輪	ʔnu:	間違う
ɯ	-s ^h ɯ	誰	- ^h gu:	米
ə	-s ^h ə	腰	ʔɛ:	言う
ɯ	ʔɥ ^h ɯ fi	炭	- ^h gu:	軒
ø	- ^h gejʔ	鷹	ʔkø:	革

ɾɿ [ɿ]	ˉzɿ k ^h a	春	ˉ ^h sɿ:	金 (きん)
ɾɿ [ɿ]	ˉtʂ ^h ɿja	雨	ˉʂ ^h ɿ: e ^h uʔ	東

2.3.2 鼻母音

/ɯ, ɿ-ɿ/には鼻母音が認められず、さらに舌位置/a, ɑ, o/以外の母音には長鼻母音が認められない。

/ä, ä, ü/およびすべての長鼻母音は出現例が少ない。

表4 鼻母音の例

	短母音例		長母音例	
i	ˉ ^h çĩ	雲		
e	ˉmjẽ	薬		
ɛ	ˉsẽ	ごはん		
a	ˉjã	早い	ˉmjã:	あざ
ɑ	ˉtʂ ^h e jã	つば	ˉ ^h dzã:	ポット
ɔ	ˉsõ	銅		
o	ˉ ^h dzõ	町	ˉ ^h õ:	きのこ
u	ˉlũ	倒れる		
ɯ				
ə	ˉ ^h zõ mwə ˉjeʔ	関心を持つ		
ɤ	ˉ ^h ũ	終わる		
ø	ˉkø	かぶる		
ɿ-ɿ				

2.4 子音

子音は、初頭単子音、初頭子音連続および末子音に分けて具体例を挙げつつ考察する。

2.4.1 初頭単子音

単子音の具体例は、可能な限り2例ずつ挙げる。

閉鎖音・破擦音

Choswateng 方言は閉鎖音・破擦音に声門閉鎖音を除き無声有気，無声無気，有声の 3 系列を有する。

有声音については単子音として現れる例は相対的に少なく，しばしば語中に見られる。なお，/d/は単子音としては現れず，後述する初頭子音連続の一部として現れる。

そり舌閉鎖音/^ht, t/は軽微の摩擦成分を含んだ [^{sh}, t^s] として現れることがあるが，そり舌破擦音とは弁別される。

硬口蓋閉鎖音系列/^hc, c, ɟ/は舌背全体が広く硬口蓋に密着するタイプの調音動作で実現するのではなく，硬口蓋中部から後部にかけてのより狭い範囲で閉鎖を形成する。ただし前部軟口蓋音（[k^j] など）で現れることは，音声学的に存在するとしても，まれである。

表 5 初頭子音；閉鎖音・破擦音の例

	例語	語義	例語	語義
^h p	ʰpʰaʔ	ぶた	ʰpʰu ^h sɿ:	少年
p	ʰpa	めす牛	ʰpu:	吹く
b	ʰba	父	ʰsʰə bu	かご
^h t	ʰtʰejʔ	チーズ	ʰtʰuʔ	穀物
t	ʰta rēj	今日	ʰtu: raʔ	なくす
d	ʰtsʰə duʔ	左	ʰfio duʔ	あの辺
^h tʰ	ʰtʰə tʰaʔ	万		
t	ʰtʰe	思い出す	ʰtʰəʔ	六
q				
^h c	ʰcʰaʔ	血	ʰcʰə	ベッド
c	ʰca:	瓶	ʰcə zō	ナイフ
ɟ	ʰje jə	文字		
^h k	ʰkʰa	口	ʰkʰə	暇な
k	ʰka:	柱	ʰkə:	革
g	ʰqə: ʰgə ^h tʰse	以上		
ʔ	ʰʔa po	腹	ʰʔā ʰtā mwə	第 1
^h ts	ʰtsʰa	塩	ʰtsʰə	犬
ts	ʰtsēj sēj	梅檀	ʰtsu lje	醜い

dz	ˈdzə	踏む	ˈt͡ʂʰɑ: dzā	鉄なべ
t͡ʂʰ	ˈt͡ʂʰa	ペア	ˈt͡ʂʰuʔ	できる
t͡ʂ	ˈt͡ʂa	茶	ˈt͡ʂo mwə	尼
d͡ʒ	ˈd͡ʒə ˈsɿ: d͡ʒe	以下		
t͡ʂʰ	ˈt͡ʂʰə	寿命	ˈt͡ʂʰō	家
t͡ʂ	ˈt͡ʂa	網	ˈt͡ʂi	そして
d͡ʒ	ˈhʰt͡ʂo: dzu	肋骨	ˈfi nō dzoʔ	しあさって

摩擦音

Choswateng 方言は摩擦音に声門摩擦音を除き有気、無気、有声の3系列を有する。有声音については単子音として現れる例は相対的に少なく、しばしば語中に見られる。各種有声摩擦音は語中に現れる頻度が高い。なお、/j/は単子音としては現れず、後述する初頭子音連続の一部として現れる。

表6 初頭子音；摩擦音の例

	例語	語義	例語	語義
sʰ	ˈsʰa	地	ˈsʰu duʔ	指輪
s	ˈsū:	夕食	ˈso wa	鎌
z	ˈku zē	衣服	ˈhʰt͡ʂəʔ zɿ:	柄杓
ʂʰ	ˈʂʰa	肉	ˈʂʰəj	薪
ʂ	ˈʂej	溶ける	ˈsoʔ	階下
z	ˈzəʔ	とっておく	ˈzə	4
ʂʰ	ˈʂʰiʔ	しらみ	ˈʂʰuʔ	方向
ʂ	ˈʂa	鶏	ˈʂuʔ	なめる
z	ˈzɿ kʰa	春	ˈhʰt͡ʂo: ziʔ	11
ʂʰ	ˈʂʰa	印を押す	ˈʂʰe ŋa	数珠
ʂ	ˈʂā:	砂	ˈʂi:	子供
j				
xʰ	ˈxʰoʔ	凹の	ˈxʰeʔ xʰeʔ	偏った
x	ˈxu:	悲しい		
ɣ	ˈɣu:	逃げる		
h	ˈha ʰdzī	ハンカチ	ˈʔa hu:	猿

fi fi: pa ふくろう ʰim ʰigō 上へ

共鳴音

Choswateng 方言の共鳴音は鼻音/n/および半母音/w, j/を除いて有声と無声の系列が存在する。

なお, /n/は限られた数語にのみ現れる。/m/は単子音としては現れず, 後述する初頭子音連続の一部として現れる。

表 7 初頭子音；共鳴音の例

	例語	語義	例語	語義
m	ʼma: ma	祖母	ʼmo mo k ^h wa	蒸しパン
m̥				
n	ʼna:	裸麦	ʼno: ʰbuu	宝石
n̥	ṽnā:	鼻	ṽnū	油
ŋ	ʼk ^h o ŋa: nəj	彼ら 2 人	ʼtɛ ^h u? ŋa: kē	あなたたち
ŋ̥	ʼŋa	魚	ʼŋō	名前
ɲ	ṽŋa?	しみ	ṽŋə	わな
ɲ̥	ṽŋa	5	ʼŋa?	ほえる
ɳ	ṽŋa?	呪文	ṽŋɛ:	枕
l	ʼla	尾根	ʼlo ɣ ^h ɛ	干支
l̥	ṽla	神	ṽlō	靴
r	ʼra	山羊	ʼru?	友人
r̥	ṽrej?	はぐ	ṽre:	破れる
w	ʼwa	狐	ṽwo: to?	ふいご
j	ṽja ja	兄	ʼjo?	眠る

2.4.2 初頭子音連続

Choswateng 方言に見られる子音連続の組み合わせ数は比較的多いが, その組み合わせのパターンは単純で, 前鼻音類, 前気音, わたり音を含むものに分けられる。前の 2 者とわたり音は独立して現れることができるから, 最大で 3 子音連続を形成するが, その出現頻度は低い。

以下、まずわたり音を除く2子音連続について前鼻音と前気音に分類して例を挙げ、ついでわたり音を含む2子音連続、3子音連続と続けて例を挙げる。

前鼻音類

前鼻音類には、鼻音部が後続子音より弱く発音される狭義の前鼻音と、後続子音より強く発音されるタイプのものがある。後者は朱曉農 (2007: 10; 2010: 146-147) が「後爆鼻音」と呼ぶものに近いと考えられ、通常発話速度が早い場合鼻音のみの発音になるという特徴がある。この現象の詳細は鈴木 (2010a: 110-112) を参照。ただしこの現象は、鼻音の後続子音が脱落したのではなく、鼻音に同化したと分析できる。鼻音だけが聞こえる場合、その調音は単独の鼻音よりもやや長い。また、いくつかの狭義の前鼻音でも、発話速度が速い場合には聴覚印象として鼻音だけが際立つ。

有声音に先行するものと無声有気音に先行するものが認められ、前鼻音は子音連続間で調音位置と有声性が一致する。

鼻音部が後続子音より弱く発音されるタイプ

- ${}^m\mathbf{b}$: ${}^m\mathbf{bu}$ 虫
- ${}^n\mathbf{d}$: ${}^n\mathbf{dɔ}$ pa 翼
- ${}^n\mathbf{d}$: ${}^n\mathbf{da ts}^h\mathbf{u}$ 外見
- ${}^n\mathbf{j}$: ${}^n\mathbf{jɔ}?$ 雷
- ${}^n\mathbf{g}$: ${}^n\mathbf{ga}$ 鍛冶屋
- ${}^n\mathbf{dz}$: ${}^n\mathbf{dzɔ}$ ba 橋
- ${}^n\mathbf{dz}$: ${}^n\mathbf{dzɔ}$ ナシ族
- ${}^n\mathbf{dz}$: ${}^n\mathbf{dza}$ wa 速い
- ${}^m\mathbf{p}^h$: ${}^m\mathbf{p}^h\mathbf{o}?$ 穴が開く
- ${}^n\mathbf{t}^h$: ${}^n\mathbf{t}^h\mathbf{o}?$ pa 厚い
- ${}^n\mathbf{c}^h$: ${}^n\mathbf{c}^h\mathbf{u}$ 洗う
- ${}^n\mathbf{k}^h$: ${}^n\mathbf{k}^h\mathbf{e}$ lə 腎臓
- ${}^n\mathbf{ts}^h$: ${}^n\mathbf{ts}^h\mathbf{o}?$ nɑ? 尻
- ${}^n\mathbf{ts}^h$: ${}^n\mathbf{ts}^h\mathbf{o}$ hɿ 白塔
- ${}^n\mathbf{tɕ}^h$: ${}^n\mathbf{k}^h\mathbf{i}$ ljə 腎臓

鼻音部が後続子音より強く発音されるタイプ

mb : ^hkə mba 足

nd : ˉnda wā 尾

前気音

有声音に先行するものと無声無気音に先行するものが認められ、また子音連続間で有声性が一致する。

h_hp : ^hpō 草地

h_ht : ^hta 馬

h_ht : ^hta s^hi pa 吉祥

h_hc : ^hca 髪

h_hk : ^hkə jā 星

h_hts : ^htsə ^{fi}dzu 筋肉

h_htʃ : ^htʃē zē 猛獣

h_htʃ : ^htʃə? wa 大便

h_hs : ^hsɿ 金

h_hʃ : ^hʃe? 言う

h_hc : ^hcō c^hə 狼

h_hç : ^hçī 雲

h_hx : ^hxə ŋi: tsa 横の

h_hl : ^hlɑ: pa 起毛ジャケット

^{fi}b : ^{fi}bu tēj 太い

^{fi}d : ^{fi}dē 七

^{fi}d : ^{fi}dɑ: 仇

^{fi}j : ^{fi}jə s^hə? ふるい

^{fi}g : ^{fi}gō 箱

^{fi}dz : ^{fi}dzā: ポット

^{fi}dʒ : ^{fi}dʒi: 痕跡

^{fi}dʒ : ^{fi}dʒe? 八

- $\text{f}^{\text{h}}\text{z} : \text{f}^{\text{h}}\text{z}\bar{\text{e}}$ 袈裟
 $\text{f}^{\text{h}}\text{z} : \text{f}^{\text{h}}\text{z}\bar{\text{o}}\text{ ma}$ 乳牛
 $\text{f}^{\text{h}}\text{z} : \text{f}^{\text{h}}\text{z}\bar{\text{i}}?$ 豹
 $\text{f}^{\text{h}}\text{j} : \text{f}^{\text{h}}\text{j}\bar{\text{o}}^{\text{h}}\text{ktu}$ 砂糖
 $\text{f}^{\text{h}}\text{γ} : \text{f}^{\text{h}}\text{γ}\text{u}$ 蛇
 $\text{f}^{\text{h}}\text{m} : \text{f}^{\text{h}}\text{ma za}$ 孔雀
 $\text{f}^{\text{h}}\text{n} : \text{f}^{\text{h}}\text{na}$ 妻
 $\text{f}^{\text{h}}\text{ŋ} : \text{f}^{\text{h}}\text{ŋ}\bar{\text{i}}?$ 目
 $\text{f}^{\text{h}}\text{ŋ} : \text{f}^{\text{h}}\text{ŋa m\bar{o}}$ らくだ
 $\text{f}^{\text{h}}\text{l} : \text{f}^{\text{h}}\text{l}\bar{\text{s}}$ 風
 $\text{f}^{\text{h}}\text{r} : \text{f}^{\text{h}}\text{r}\bar{\text{s}}$ 燻製にする
 $\text{f}^{\text{h}}\text{j} : \text{f}^{\text{h}}\text{j}\bar{\text{a}}?$ ヤク

わたり音 (G) を含む 2 子音連続

わたり音 (G) には/w/および/j/がある。

組み合わせの種類は豊富であるが、多くの組み合わせで見られる語が少ない。

/w/のもの

- $\text{p}^{\text{h}}\text{w} : \text{f}^{\text{h}}\text{duj}?\text{ p}^{\text{h}}\text{w}\bar{\text{o}}$ 悪魔
 $\text{pw} : \text{ʔe: pw}\bar{\text{o}}$ 体
 $\text{bw} : \text{h}^{\text{h}}\text{p}\bar{\text{e}}\text{j bw}\bar{\text{o}}$ 公務員
 $\text{t}^{\text{h}}\text{w} : \text{f}^{\text{h}}\text{go t}^{\text{h}}\text{w}\bar{\text{o}}$ 胡桃
 $\text{tw} : \text{ʔ}^{\text{h}}\bar{\text{o}}\text{ tw}\bar{\text{o}}$ 死んだ
 $\text{k}^{\text{h}}\text{w} : \text{ʔ}^{\text{h}}\text{wa}$ 肉入りぎょうざ
 $\text{kw} : \text{ʔe kw}\bar{\text{a}}$ 骨
 $\text{tsw} : \text{ʔa w}\bar{\text{o}}\text{ ŋe tsw}\bar{\text{o}}$ 鸚鵡
 $\text{s}^{\text{h}}\text{w} : \text{ʔ}^{\text{h}}\text{w}\bar{\text{o}}$ 歯
 $\text{ʃ}^{\text{h}}\text{w} : \text{ʔ}^{\text{h}}\text{a ʃ}^{\text{h}}\text{w}\bar{\text{o}}$ 話
 $\text{ʃw} : \text{ʔsw}\bar{\text{o}}$ ヨーグルト
 $\text{zw} : \text{na zw}\bar{\text{o}}$ 耳
 $\text{ɕw} : \text{ɕwa}$ ねずみ

zw : t^hɔ̄ zwa リス
xw : x̄wa 咲く
ɣw : t̄s^huɪ ɣwa: 脱脂粉乳
hw : hwa 描く
mw : ʼpa mwə 霜
ɳw : ʼɳwə 買う
ɳ̄w : ʼɳ̄wə 狂う
ɲw : ʼɲwaʔ 派遣する
lw : ʼlwə 年
rw : ʼrwa つの

/j/のもの

p^hj : ʼp^hje 子ぶた
pj : ʼpjɔ̄ 倉庫
t^hj : t^hjeʔ 頼る
tj : ʼwo tje あれ (近指)
dj : ʼkə djɪ 何
mj : ʼra ʼmi mje 子山羊
m̄j : ʼm̄jɛ̄ ba 医者
lj : ʼ^ht̄sə ljə 舌

3 子音連続

ⁿts^hw : ʼⁿts^hwə 湖
ⁿdzw : ʼⁿdzwə ゾ (ヤクと牛の交配種)
^ɳgw : ʼ^ɳgwə 頭
^mp^hj : ʼ^mp^hja: 傷つける
^mbj : ʼndi: ^mbje 真の
ⁿt^hj : ʼⁿt^hjoʔ 答えを当てる
ⁿdj : ʼⁿdjə これ
ⁿdj : ʼndjə nɛj この2つ

- $^h\text{tw} : \text{ʔ}^h\text{a} : \text{h}^h\text{twə}$ ぶたの餌
 $^f\text{dw} : \text{ʔ}^f\text{dwə}$ 石
 $^h\text{kw} : \text{ʔ}^h\text{kwə}$ 掘る
 $^f\text{gw} : \text{ʔ}^f\text{gwa}$ 卵
 $^h\text{tsw} : \text{ʔ}^h\text{tswə}$ 煮る
 $^h\text{tʂw} : \text{ʔ}^h\text{ku zā} \text{h}^h\text{tʂwi nə}$ 仕立て屋
 $^f\text{dʒw} : \text{ʔ}^f\text{dʒwa}$ 蚤
 $^f\text{dʒw} : \text{ʔ}^f\text{kwa je} \text{ʔ}^f\text{dʒwə}$ 皮の袋
 $^h\text{sw} : \text{ʔ}^h\text{swə}$ 支える
 $^f\text{mw} : \text{ʔ}^f\text{mwə}$ 耕す
 $^f\text{nw} : \text{ʔ}^f\text{nwə} \text{ʕ}^h\text{a}$ 鋭利な
 $^h\text{pj} : \text{ʔ}^h\text{pjə}$ 結ぶ
 $^f\text{bj} : \text{ʔ}^f\text{bjə}$ ミツバチ
 $^h\text{tj} : \text{ʔ}^h\text{lē} \text{h}^h\text{tje}$ 答え
 $^f\text{dj} : \text{ʔ}^f\text{ʂə} \text{ʔ}^f\text{djə}?$ 閉じる

2.4.3 末子音

Choswateng 方言に認められる末子音には、単子音に /ʔ, j/, 複子音に /jʔ/ がある。このうち、/ʔ/ が大部分の例を占める。

末子音は先行する母音との共起制限があり、特に長母音とは結びつかない。また、末子音 /j/ は鼻母音 /ē, ə/ に後続するという偏りが認められる。以下に絶対語末および語中に分けて例をあげる。

表 8 末子音の例

絶対語末例		語中例	
例語	語義	例語	語義
ʔ	ʔ ^f boʔ 空気	ʔ ^h uʔ pa	額
j	ʔ ^h pēj 姉妹	ʔ ^h tej ^f daʔ	主人
jʔ	ʔ ^h ejʔ 騾馬	ʔ ^f dujʔ mwə	悪魔

3 Choswateng 方言の蔵文との対応関係

蔵文と口語形式の対応関係は、チベット語方言の特徴を分析する伝統的な手法であり、さまざまな先行研究において一定の注目すべき対応関係が示されている。ただし注目すべき点が分析の対象となる方言によって異なってきて、必ずしも先行研究に扱われる蔵文との対応関係を見るだけでは十分でない。個別方言の分析と地理的に近い地域に分布する方言の蔵文との対応関係を比較することによって、方言所属を問題にする場合にはかなりの精度の結果を得ることが可能となる。

ここでは、西 (1986) や西田 (1987), 張濟川 (2009:259-357) などに提示される特徴を中心に、さらに鈴木 (2008b; 2009a) や Suzuki (2008ab) で示されている迪慶州のチベット語方言で注目される特徴を考慮に入れつつ、Choswateng 方言における現象を整理する。ただし、声調については蔵文との対応関係の面でおお不透明な部分もあるため、本稿では扱わない。なお、蔵文は Wylie 式の転写で示し、通常は例語に続けて () に入れて掲げる。チベット文字の表す音価は格桑居冕・格桑央京 (2004:379-390) を参照。

議論は初頭子音と母音 + 末子音の 2 種に分けて行う。

3.1 初頭子音

ここで扱う項目としては、閉鎖・破擦・摩擦音の有声性、蔵文 c, ch, j; ts, tsh, dz 対応形式、蔵文 sh, zh; s, z 対応形式、蔵文足字 y 対応形式、蔵文足字 r 対応形式、蔵文基字 l, y 対応形式、蔵文足字 l, lh 対応形式、蔵文足字 w 対応形式、蔵文 s+鼻音字を含む形式、前鼻音を含む子音連続、そのほかの特徴に分けて考察する。

3.1.1 閉鎖・破擦・摩擦音の有声性

Choswateng 方言では、閉鎖・破擦音および摩擦音について、蔵文で基字に先行する子音がない有声音字 g, j, d, b, dz, zh, z は、基本的にそれぞれの調音位置の無声無気音に対応する。たとえば、以下のようなものである。

ʼpa 「牛」 (ba)	ʼswa 「帽子」 (zhwa)
ʼtō 「熊」 (dom)	ʼsē 「ごはん」 (zan)
ʼtʂa 「茶」 (ja)	

また、これらの文字に足字がある場合も同じく無声無気音に対応する。たとえば、以下のようなものである。

ただし、後続の母音が*i*, *u*の場合、前部硬口蓋破擦音が対応する例がある。また、藏文で母音字が*i*の場合に、口語形式で母音が*i*, *u*以外でもこの対応関係を見せる例がある。たとえば、以下のようである。

ʔe ^h u: 「染料」 (<i>tshos</i>)	ⁿdzi: bwə 「美しい」 (<i>mdzes po</i>)
ⁿtci: 「探し出す」 (<i>btsal</i>)	ʔe ^h ə 「脂肪油」 (<i>tshil</i>)

3.1.3 藏文 sh, zh; s, z 対応形式

Choswateng 方言において、藏文 sh, zh には後続の母音が*i*の場合を除き、そり舌摩擦音が対応する。たとえば、以下のようである。

ʃ ^h a 「肉」 (<i>sha</i>)	ʃēj 「畑」 (<i>zhing</i>)
ⁿʃeʔ 「言う」 (<i>bshad</i>)	ʔzə 「4」 (<i>bzhi</i>)

ただし、後続の母音が*i*の場合、前部硬口蓋摩擦音が対応する例がある。たとえば、以下のようである。

ⁿʃiʔ 「しらみ」 (<i>shig</i>)	ⁿciʔ 「破壊する」 (<i>bshig</i>)
----------------------------	------------------------------

一方藏文 s, z には、後続の母音が*i*, *u*の場合を除き、歯茎摩擦音が対応する。たとえば、以下のようである。

s ^h a 「土」 (<i>sa</i>)	ⁿsɿ: 「金 (きん)」 (<i>gser</i>)
sē 「ごはん」 (<i>zan</i>)	

後続の母音が*i*, *u*の場合、基本的に前部硬口蓋摩擦音が対応する。たとえば、以下のようである。

ⁿʃu fia 「炭」 (<i>sol ba</i>)	ⁿziʔ 「豹」 (<i>gzig</i>)
ⁿzu: 「大工」 (<i>bzo ba</i>)	

3.1.4 蔵文足字 y 対応形式

蔵文足字 y 対応形式は大きく蔵文 Py 対応形式と Ky 対応形式に分かれる。

蔵文 Py は, p, ph, b に足字 y を伴う形式を含む形式についていう。

Choswateng 方言では基本的に前部硬口蓋摩擦音が対応する。たとえば, 以下のようである。

ˈtʰə 「開ける」 (<i>phyi</i>)	ˈhʰeʔ 「初春」 (<i>dpyad ka</i>)
ˈca 「鶏」 (<i>bya</i>)	ˈzɿ kʰa 「春」 (<i>dbyar kha</i>)

ただし少数に硬口蓋摩擦音が対応する例がある。たとえば, 以下のようである。

ˈçā: 「砂」 (<i>bye ma</i>)	ˈçi: 「子供」 (<i>byis</i>)
----------------------------	---------------------------

蔵文 Ky は, k, kh, g に足字 y を伴う形式を含む全ての対応形式についていう。

Choswateng 方言では基本的に前部硬口蓋破擦音が対応する。たとえば, 以下のようである。

ˈtʰuʔ 「あなた」 (<i>khyod</i>)	ˈhʰtʰei: pʷə 「幸せな」 (<i>skyid po</i>)
ˈtʰɔ̃ 「壁」 (<i>gyang</i>)	ˈfi dza 「100」 (<i>brgya</i>)

ただし例外として, ˈtsʰə 「犬」 (*khyi*) がある。

3.1.5 蔵文足字 r 対応形式

蔵文足字 r を含む形式には, Pr (=pr, phr, br を含む形式), Kr (=kr, khr, gr を含む形式), tr/dr など閉鎖音を含むもののほか, sr などもある。Choswateng 方言では, Pr, Kr, tr/dr, sr で全く異なる対応関係を示す。ここでは音対応が他と大きく異なる蔵文 sr 対応形式以外を扱う。

まず, Pr 対応形式は複数あり, 多くは硬口蓋摩擦音, 軟口蓋摩擦音, 硬口蓋閉鎖音のいずれかに対応する。

硬口蓋摩擦音になる例は, たとえば以下のようである。

$\zeta^h e \eta a$ 「数珠」 (*phreng ba*) $^h \zeta u$: 「さる年」 (*spre'u*)
 $\zeta a?$ 「がけ」 (*brag*) $^h j\ddot{o}^h kuu$: 「砂糖」 (*sbrang dkar*)
 ζi : 「書く」 (*bri*)

軟口蓋摩擦音になる例はいずれも /u/ に先行し、たとえば以下のようなものである。

$\zeta^h u?$ 「奪う」 (*'phog*) ζu : 「逃げる」 (*bros*)
 $^h i \zeta u$: 「蛇」 (*sbrul*)

例外として、 $\zeta a hu$: 「猿」 (*a spre*) のように声門摩擦音になるものがある。また、 $^h bj\ddot{o}$ 「ミツバチ」 (*sbrang*) のように足字 *r* が脱落していると考えられるものもある。

藏文 *br* の組み合わせは基本的に硬口蓋閉鎖音に対応する。

$^h ju fia$ 「玄米」 (*'bru ba*) $^h j\ddot{o}?$ 「龍」 (*'brug*)
 $^h j\ddot{o}$ 「めすヤク」 (*'bri*)

ただし例外として、 $^h gu$: 「米」 (*'bras*) がある。

Kr 対応形式については、基本的に硬口蓋閉鎖音に対応する。たとえば、以下のようである。

$\zeta^h a?$ 「血」 (*khrag*) $^h ca$ 「髪」 (*skra*)
 $\zeta w\ddot{a}$ 「小麦」 (*gro*) $^h j\ddot{o}$ 「数える」 (*bgrang*)

ただし、そり舌閉鎖音や足字 *r* が脱落したと考えられる形式と対応関係を見せる例がある。

$t^h \ddot{a} t^h a?$ 「1万」 (*khri phrag*) $^h k^h e$: 「(動物が) 産む」 (*'khrungs*)
 $k^h e?$ 「導く」 (*khrid*) $^h gw\ddot{a}$ 「行く」 (*'gro*)

例外として、 $^h t\zeta^h \ddot{e} ba$ 「胆嚢」 (*mkhris pa*) のように前部硬口蓋破擦音になるものがある。

tr/dr 対応形式については、(')dr のみが確認されているが、基本的にそり舌閉鎖音に対応する。たとえば、以下のようなものである。

ʦə 「尋ねる」 (<i>dri</i>)	ʦ̥ɕʰuʔ 「おもての」 (<i>drang phyogs</i>)
ʦəʔ 「6」 (<i>drug</i>)	ʦ̥ja ʰd̥ə 「鬼」 (<i>sngags 'dre</i>)

3.1.6 蔵文基字 l, y 対応形式

Choswateng 方言では、基本的に蔵文 l には /l/ が対応する。たとえば、以下のようである。

ʦl̥ 「道」 (<i>lam</i>)	ʦle: p̥wə 「体」 (<i>lus po</i>)
ʦlaʔ kə 「手」 (<i>lag pa</i>)	ʦle: 「縁」 (<i>las</i>)
ʦlwə 「年」 (<i>lo</i>)	

一方、蔵文 y には /j/ が対応する。たとえば、以下のようである。

ʦje jə 「文字」 (<i>yi ge</i>)	ʦ̥ʰjaʔ 「ヤク」 (<i>g.yag</i>)
ʦja p̥wə 「よい」 (<i>yag po</i>)	ʦ̥ʰjəʔ 「揺れる」 (<i>g.yug</i>)

3.1.7 蔵文足字 l, lh 対応形式

Choswateng 方言では、蔵文 zl, sl を除き蔵文足字 l には前気音を伴う /^hl/ が対応する。たとえば、以下のようである。

ʰʦla: 「キバノロ」 (<i>gla ba</i>)	ʰʦle: wa 「脳」 (<i>klad pa</i>)
ʰʦla 「魂」 (<i>bla</i>)	ʰʦla ma 「ラマ」 (<i>bla ma</i>)
ʰʦl̥ɕ 「風」 (<i>rlung</i>)	

蔵文 zl には /^hd/ が対応する。たとえば、^hda wa 「月 (天体)」 (*zla ba*) のようである。

一方、蔵文 sl には前気音を伴う /^hl/ が対応する。蔵文 lh には前気音を伴わない /l/ が対応する。たとえば、以下のようである。

ʦla 「編む」 (<i>sla</i>)	ʦla 「神」 (<i>lha</i>)
ʦle: ʰʦla 「簡単な」 (<i>las sla</i>)	ʦl̥ɕ 「靴」 (<i>lham</i>)

3.1.8 蔵文足字 w 対応形式

Choswateng 方言では、蔵文足字 w に対応すると見られる音形式が現れる例がある。たとえば、以下のようなものである。

^htswa 「草」 (*rtswa*) ʼrwa 「角 (つの)」 (*rwa*)
 ʼswa 「帽子」 (*zhwa*)

しかし、^htsʰa 「塩」 (*tshwa*) などには/w/を含む第 2 音節が現れない。

3.1.9 蔵文 s+鼻音字を含む形式

Choswateng 方言では、蔵文鼻音字に頭字 s を伴う形式には、調音位置の対応する無声鼻音で現れる。たとえば、以下のようなものである。

^hmjē 「薬」 (*sman*) ^hñā 「早い」 (*snga*)
^hñī 「心臓」 (*snying*) ^hñō ba 「狂人」 (*smyon pa*)
^hnā: 「鼻」 (*sna ba*)

3.1.10 前鼻音を含む子音連続

Choswateng 方言の前鼻音を含む子音連続は、前鼻音要素に後続する子音に無声有気音と有声音があり、それは蔵文前接字 ʼ, m と対応するものが多い。前鼻音要素と後続する子音は、調音位置、有声性について一致する。たとえば、以下のようなものである。

^hgwə 「頭」 (*mgo*) ^hkʰi: ljə 「腎臓」 (*mkhal ba*)
^hʲjəʔ 「籠」 (*'brug*) ^htʂʰu h pje 「唇」 (*mchu pa*)
^hbu 「虫」 (*'bu*)

以上のほかにも、蔵文 zl の対応形式も前鼻音が現れる。たとえば^hda wa 「月 (天体)」 (*zla ba*) のようである。

3.1.11 そのほかの特徴

Choswateng 方言では、蔵文 m を初頭子音とする語が前部硬口蓋鼻音/ɱ/に対応するものがある。たとえば、以下のようなものである。

末子音が鼻音の場合

ᶦᵛ 「道」 (<i>lam</i>)	ᶠᵈᵉ 「7」 (<i>bdun</i>)
ᶠᵉᵒ 「家」 (<i>khyim</i>)	ᶠᵒᵛ 「平原」 (<i>thang</i>)
ᵒᵗᵒ 「閉ざす」 (<i>btsun</i>)	ᶠᵒᵉᵗ 「薪」 (<i>shing</i>)
ᶠᵒ 「熊」 (<i>dom</i>)	ᵒᵒᵒ 「少ない」 (<i>nyung nyung</i>)
ᵒᵗ 「ごはん」 (<i>zan</i>)	ᶠᵒᵒ 「来る」 (<i>'ong</i>)
ᶠᵒᶦ 「熱れる」 (<i>smin</i>)	

末子音がその他の子音の場合

ᵒᵐᵘ: 「バター」 (<i>mar</i>)	ᶠᵒᵗᵗᵗ 「銀」 (<i>ngul</i>)
ᶠᵒᶦᶦ: 「昇る」 (<i>shar</i>)	ᶠᵉᵗ? 「騾馬」 (<i>drel</i>)
ᵒᵗᵗᵒ 「搾る」 (<i>gcir</i>)	ᶠᵉ: 「縁」 (<i>las</i>)
ᵒᵒᵒ: 「送る」 (<i>skur</i>)	ᵒᵒᵗ 「2」 (<i>gnyis</i>)
ᵒᵗᶦ: 「金」 (<i>gser</i>)	ᵒᵒᵑᵗ 「線香」 (<i>spos</i>)
ᶠᵉᵒᵒ 「脂肪油」 (<i>tshil</i>)	

3.2.2 そのほかの特徴

長鼻母音の例は先の表と例に現れないが、藏文対応形式を考えると、2音節が縮約したものに対応し、かつ例は限られる。

ᵒᵒᵒ: 「鼻」 (<i>sna ba</i>)	ᶠᵒᵗᵗᵗ: 「ポット」 (<i>rdza ma</i>)
ᵒᵒᵗᵗ: 「あざ」 (<i>sme ba</i>)	ᶠᵒᵗᵗᵗ: 「秤」 (<i>rgya ma</i>)
ᵒᵒᵗ: 「乳」 (<i>'o ma</i>)	

2音節が縮約したものの中には、長非鼻母音に対応するものもある。

ᶠᵉᵒᵒ: 「雹」 (<i>ser ba</i>)	ᶠᵒᵒᵒ: 「鹿」 (<i>shwa ba</i>)
ᵒᵒᵗ: 「柱」 (<i>ka ba</i>)	ᶠᵒᵒᵒ: 「息子の嫁」 (<i>mna' ma</i>)
ᵒᵒᵒ: 「雪」 (<i>kha ba</i>)	

ただし、縮約しても長鼻母音に対応しない例もある。

ˈɕwa 「ねずみ」 (*byi ba*)

ˈfiɡwa 「卵」 (*sgong ba*)

ˈfiɖzwa 「蚤」 (*lji ba*)

4 方言比較から見る Choswateng 方言の方言特徴

本節ではカムチベット語 Sems-kyi-nyila 方言群, 特に Choswateng 方言の属する同方言群 rGyalthang 下位方言群に属する諸方言の蔵文との音対応に関する比較を通じて, Choswateng 方言のもつ音対応の面での方言特徴を明らかにするために検討を加える。これはカムチベット語の方言分類を行う上で重要な作業であり, 雲南省のチベット語については鈴木 (2008a; 2009a) でその必要性を指摘した。この検討は, すでに鈴木 (2012a) および Suzuki (2013b) において提示した資料を基礎に, 一部の限られた音対応に限定して行うが, rGyalthang 下位方言群の諸方言内部の多様性を垣間見ることができるとともに, 今後の rGyalthang 下位方言群もしくは Sems-kyi-nyila 方言群に関する方言学的研究にとって重要な特徴を明らかにできるものと考ええる。

4.1 議論の対象

具体的な議論に入るに当たり, rGyalthang 下位方言群の諸方言の中で最もよく知られている変種の中で, 筆者の記述した rGyalthang 方言の若年層の音体系 (Hongladarom (1996) などの先行研究に rGyalthang 方言として記述されるものよりも若い世代のもの; 同一の村の方言かどうかは不明) を以下に示す。

rGyalthang 方言：超分節音 語声調で 4 種の対立

ˊ : 高平 ˋ : 上昇 ˋˊ : 下降 ˋˊˊ : 低/上昇下降

rGyalthang 方言：母音 舌位置による一覧 (長短および鼻母音/非鼻母音の対立も存在)

ɪ	i	u	ɯ	u
e	ə	ø	ɤ	o
ɛ			ɔ	
a			ɑ	

rGyalthang 方言：子音 子音連続の構成要素としてのみ現れるものも含めた一覧

		両唇	歯茎	そり舌	硬口蓋 前 後	軟口蓋	声門
閉鎖音	無声有気	p ^h	t ^h	t̪ ^h		k ^h	
	無気	p	t	t̪		k	ʔ
	有声	b	d	d̪		g	
破擦音	無声有気		ts ^h	t̪s ^h	tç ^h		
	無気		ts	t̪s	tç		
	有声		dz	d̪z	dʒ		
摩擦音	無声有気		s ^h	ʃ ^h	ç ^h		
	無気		s	ʃ	ç	x	h
	有声		z	ʒ	ʒ	ɣ	ɦ
鼻音	有声	m	n		ɲ	ŋ	
	無声	m̥	n̥		ɲ̥	ŋ̥	
流音	有声		l	r			
	無声		l̥	r̥			
半母音		w			j		

以上に示した rGyalthang 方言の音組織と 2 節で見た Choswateng 方言のものを比べると、次のような異同が指摘できる。

- 声調の調類と数が両者で一致
- 母音は舌位置について rGyalthang 方言に /s/ が存在する以外は両者で一致
- 子音は Choswateng 方言に硬口蓋閉鎖音・摩擦音系列および /x^h, ɦ/ が存在する以外は両者で一致

以上の点から、rGyalthang 下位方言群の中で大きな異なりが認められる点は硬口蓋系列の調音であると考え、本節における検討の主な対象を硬口蓋系列およびその周辺に設定する。

さて、方言の提示における方便として、本節で扱う方言について、名称・分布地点・略号を次のように定める。

表 10 本節で言及する方言名・地点・略号

方言名	分布地域	略号
Choswateng	香格里拉県小中甸郷吹亞頂村	YaC
Khyimphyugong	香格里拉県小中甸郷期學谷村	YaK
Gyennyemphel	香格里拉県小中甸郷吉念批村	YaG
Alangu	香格里拉県三躰郷安南村	Ala
mTshomgolung	香格里拉県建塘鎮錯古龍村	rGyT
rGyalbde	香格里拉県建塘鎮吉迪村	rGyD
Myigzur	香格里拉県洛吉郷尼汝村	Myi
mTshongu	香格里拉県格咱郷初古村	sKT
Phuri	香格里拉県格咱郷普上村	Phu

各方言名は藏文形式を基礎に現地の発音に近くなるよう一定の変更を加えたものであり、鈴木(2012)の記述でも用いられている。村名の漢字表記も複数ある場合が存在し、必ずしも呉光范(2009)の記載とは一致しない。以上のうち、Phuri 方言を除くすべての方言は rGyalthag 下位方言群に属する。Phuri 方言は単独で独立下位方言を形成する(1節参照)が、分布地域は mTshongu 方言の話される村から幹線道路に沿って 7km 程度の距離しかないので、分布の観点から参考までに加えておく。なお、以上の配列は地理的にはほぼ南から北に位置する順になっている。

本節において提示する各表では方言名を一律略号で示し、本文中では方言名を用いる。

4.2 データの提示

ここでは、硬口蓋系列に関わる音に対応する諸形式を検討するため、3節の記述を参考にしつつ、藏文 c/ch/j/ts/tsh/dz/sh/zh/s/z および藏文足字 y, r の対応形式について取り上げる。これらの対応形式をまとめて扱うのは、口語形式として藏文足字 y, r が基字とともに音変化を起こし、その結果調音点の異なる破擦音や摩擦音が成立していることから、これらが藏文に基字としてもともと存在する c, ch, j, sh, zh などの口語対応形式とどのように合流するかという点が方言差異を分析する手がかりになるからである。

以下、簡略化のため、藏文 c/ch/j を初頭子音に含むすべての例のことを「C 系列」、藏文 ts/tsh/dz を初頭子音に含むすべての例のことを「TS 系列」、藏文 sh/zh を初頭子音に含むすべての例のことを「SH 系列」、藏文 s/z を初頭子音に含むすべての例のことを「S 系列」と呼び、藏文足字 y, r を含む例については、3.1.4 および 3.1.5 で導入した Py,

Ky, Pr, Kr, Tr といった略号を用いる。

まず、藏文 C 系列および TS 系列の対応形式 (3.1.2 参照) を取り上げ、方言間の異同を明らかにする。Choswateng 方言で藏文 C 系列がそり舌破擦音に対応する例と、藏文 TS 系列が歯茎破擦音に対応する例は次のようになる。

表 11 藏文 C/TS 系列の基本的音対応

語義	水	茶	ナシ族	塩	ゾ
藏文	<i>chu</i>	<i>ja</i>	<i>'jang</i>	<i>tsha</i>	<i>mdzo</i>
YaC	$\text{ʈʂ}^{\text{h}}\text{u}$	ʈʂa	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dʒ}\bar{\text{ɔ}}$	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{a}$	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dzw}\bar{\text{ɔ}}$
YaK	$\text{ʈʂ}^{\text{h}}\text{u}$	ʈʂa	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dʒ}\bar{\text{ɔ}}$	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{a}$	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dzw}\bar{\text{ɔ}}$
YaG	$\text{ʈʂ}^{\text{h}}\text{u}$	ʈʂa	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dʒ}\bar{\text{ɔ}}$	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{a}$	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dzw}\bar{\text{ɔ}}$
Ala	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{u}$	ʈʂa	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dʒ}\bar{\text{ɔ}}$	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{a}$	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dzo}$
rGyT	$\text{ʈʂ}^{\text{h}}\text{u}$	ʈʂa	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dʒ}\bar{\text{ɔ}}$	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{a}$	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dzw}\bar{\text{ɔ}}$
rGyD	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{y}$	ʈʂa	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dʒ}\bar{\text{ɔ}}$	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{a}$	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dzu}$
Myi	$\text{ʈʂ}^{\text{h}}\text{u}$	ʈʂe	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dʒ}\bar{\text{ɔ}}$	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{e}$	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dzw}\bar{\text{ɔ}}$
sKT	$\text{ʈʂ}^{\text{h}}\text{u}$	ʈʂa	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dʒ}\bar{\text{ɔ}}$	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{a}$	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dzu}$
Phu	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{u}$	ʈca	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dʒ}\bar{\text{ɔ}}$	$\text{ʈ}^{\text{h}}\text{a}$	$\text{ʰ}^{\text{n}}\text{dzu}$

以上の例では、藏文 C 系列については Phuri 方言を除き rGyalthang 下位方言群に属するいずれの方言でも基本的にそり舌破擦音に対応し、藏文 TS 系列についてはいずれの方言においても歯茎破擦音に対応する。

ただし、Choswateng 方言と同じく、/i, u, ə/など一部の母音の前で前部硬口蓋破擦音に対応するタイプのものは、若干異なる対応関係を見せる。

表 12 藏文 C/TS 系列の前部硬口蓋破擦音との対応

語義	1	経文	寿命	美しい
藏文	<i>gcig</i>	<i>chos</i>	<i>tshe</i>	<i>mdzes po</i>
YaC	ʰtci?	ʰtʂʰu:	ʰtʂʰə	ⁿdzi: bwə
YaK	ʰtci?	ʰtʂʰuj	ʰtʂʰə	ⁿdzi: bwə
YaG	ʰtci?	ʰtʂʰu:	ʰtʂʰə	ⁿdzi: bo
Ala	ʰtci?	ʰtʂʰu:	ʰtʂʰə	ⁿdzi: bwə
rGyT	ʰtci?	ʰtʂʰu:	ʰtʂʰə	ⁿdzi: ba
rGyD	ʰtci?	ʰtʂʰu:	ʰtʂʰə	ⁿdzi: bɣ
Myi	ʰtci?	ʰtʂʰu:	ʰtʂʰə	ⁿdzi: mwə
sKT	ʰtci?	ʰtʂʰu:	ʰtsʰə	ⁿdzi: wu
Phu	ʰtci?	ʰtʂʰu:	ʰtsʰə	ⁿdze: wo

藏文 C 系列については各方言ともほぼ共通して前部硬口蓋破擦音となるが、藏文 TS 系列については mTshongu 方言と Phuri 方言で異なり、他の母音と同じように歯茎破擦音に対応する。

次に、藏文 SH 系列および S 系列の対応形式 (3.1.3 参照) を取り上げる。Choswateng 方言で藏文 SH 系列がそり舌摩擦音に対応する例と、藏文 S 系列が歯茎摩擦音に対応する例は次のようになる。

表 13 藏文 SH/S 系列の基本的音対応

語義	肉	4	土	ごはん
藏文	<i>sha</i>	<i>bzhi</i>	<i>sa</i>	<i>zan</i>
YaC	ʰʂʰa	ʰzʂ	ʰsʰa	ʰsē
YaK	ʰʂʰa	ʰfi zʂ	ʰtsa	ʰsē
YaG	ʰʂʰa	ʰfi zʂ	ʰtsa	ʰsē
Ala	ʰʂʰa	ʰfi zʂ	ʰsʰa	ʰsē
rGyT	ʰʂʰa	ʰfi zʂ	ʰsʰa	ʰsē
rGyD	ʰʂʰa	ʰzʂ	ʰsʰa	ʰsē
Myi	ʰʂʰe	ʰfi zʂ	ʰsʰe	ʰcē
sKT	ʰʂʰa	ʰfi zʂ	ʰsʰa	ʰsē
Phu	ʰʂʰa	ʰzʂ	ʰsʰa	ʰsē

いずれの方言でも基本的に蔵文 SH 系列にはそり舌音摩擦音が、蔵文 S 系列には歯茎摩擦音が対応する。ただし、「ごはん」の Myigzur 方言の形式が異なっているが、これは次に述べる事例と関わりがあると考えられる。なお、rGyalthang 下位方言群の諸方言には、Suzuki (2013a) で記述したような蔵文 S 系列に歯端側面摩擦音が対応するといった事例は認められない。

ただし、Choswateng 方言と同じく、/i/をはじめとする特定の母音の前で前部硬口蓋摩擦音に対応するタイプのものもある。

表 14 蔵文 SH/S 系列の前部硬口蓋摩擦音との対応

語義	しらみ	破壊する	はっきりした	豹
蔵文	<i>shig</i>	<i>bshig</i>	<i>gsal po</i>	<i>gzig</i>
YaC	$\text{ʃ}^{\text{h}}\text{i}ʔ$	$\text{ʰ}\text{ɕi}ʔ$	$\text{ʰ}\text{ɕi}:\text{ɕ}^{\text{h}}\text{a}$	$\text{ʰ}\text{zi}ʔ$
YaK	$\text{ʃ}^{\text{h}}\text{i}ʔ$	$\text{ʰ}\text{ɕ}\text{ɔj}ʔ$	$\text{ʰ}\text{ɕi}:$	$\text{ʰ}\text{zi}ʔ$
YaG	$\text{ʃ}^{\text{h}}\text{i}ʔ$	—	$\text{ʰ}\text{ɕi}:\text{t}\text{ɕa}$	—
Ala	$\text{ʃ}^{\text{h}}\text{i}ʔ$	—	$\text{ʰ}\text{ɕi}:\text{b}\text{w}\text{ə}$	$\text{ʰ}\text{zi}ʔ$
rGyT	—	$\text{ɕi}ʔ$	$\text{ɕi}:\text{b}\text{u}$	$\text{ʰ}\text{zi}ʔ$
rGyD	$\text{ʃ}^{\text{h}}\text{i}ʔ$	$\text{ɕi}ʔ$	$\text{ʰ}\text{si}:$	$\text{ʰ}\text{zi}ʔ$
Myi	$\text{ʃ}^{\text{h}}\text{i}ʔ$	—	$\text{ʰ}\text{ɕi}:\text{h}\text{to}$	$\text{ʰ}\text{zej}ʔ$
sKT	—	—	$\text{ʰ}\text{si}:\text{t}\text{o}$	$\text{ʰ}\text{zi}ʔ$
Phu	$\text{ʃ}^{\text{h}}\text{i}ʔ$	$\text{ʃ}^{\text{h}}\text{i}ʔ$	$\text{ʰ}\text{se}:\text{h}\text{to}$	$\text{ʰ}\text{zi}ʔ$

/i/の直前の子音が前部硬口蓋音になる現象は、主に建塘鎮中心部以南に分布する方言で認められる。rGyalbde 方言は破擦音の場合には前部硬口蓋化が認められるが、摩擦音では生じない例もある点に注目できる。

続いて、蔵文足字 y の対応形式 (3.1.4 参照) を取り上げる。まず蔵文 Py の対応形式について見ると、以下のようにいずれの方言でも基本的に前部硬口蓋摩擦音になる。

表 15 藏文 Py の基本的音対応

語義	鶏	開ける	狼	子供
藏文	<i>bya</i>	<i>phye</i>	<i>spyang khu</i>	<i>byis</i>
YaC	ʼca	ʼcʰə	ʰcɔ̄ cʰə	ʼci:
YaK	ʼca	ʼcʰə	ʼcɔ̄ cʰə	ʼci:
YaG	ʼca	ʼcʰə	ʼcɔ̄ tɕʰu	ʼci:
Ala	ʼca	ʼcʰə	ʼcɔ̄ kʰə	ʼci:
rGyT	ʼca	ʼcʰə	ʼcɔ̄ tɕʰu	ʼci:
rGyD	ʼca	ʼcʰə	ʼcɔ̄ kʰu	ʼci:
Myi	ʼca	ʼcʰe	ʰcɔ̄ kʰe	ʰxɛ ji
sKT	ʼca	ʼcʰə	ʼcɔ̄ cʰu	ʼci:
Phu	ʼca	ʼcʰə	ʰcɔ̄ cʰə	ʰci:

ただし「子供」の例は、Choswateng 方言および Myigzur 方言で異なる調音位置で現れる点が特徴的である。Choswateng 方言では、3.1.4 に示したように、「子供」以外に「砂」も同様の対応関係を見せる。これらが藏文において別の対応形式をもつ可能性も否定できないが、うまく対応する形式はまだ見つかっていない。

次に藏文 Ky 対応形式について見ると、以下のようにいずれの方言でも基本的に前部硬口蓋破擦音になる。

表 16 藏文 Ky の基本的音対応

語義	あなた	漢族	幸せな	犬
藏文	<i>khyod</i>	<i>rgya</i>	<i>skyid po</i>	<i>khyi</i>
YaC	ʼtɕʰuʔ	ʰdza	ʰtɕi: pɔ̄	ʼtsʰə
YaK	ʼtɕʰuʔ	ʰdza	ʰtɕi: pɔ̄	ʼtsʰə
YaG	ʼtɕʰuʔ	ʰdza	—	ʼtsʰə
Ala	ʼtɕʰuʔ	ʰdza	—	ʼtsʰə
rGyT	ʼtɕʰuʔ	ʰdza	ʰtɕi:ʔ pə	ʼtsʰə
rGyD	ʼtɕʰuʔ	ʰdza	ʰtɕi: pɛ	ʼtsʰə
Myi	ʼtɕʰuʔ	ʰdza	ʰtɕi: pɔ̄	ʼtsʰə
sKT	ʼtɕʰuʔ	ʰdza	ʰtɕi: pə	ʼtsʰə
Phu	ʼtɕʰuʔ	ʰdza	ʰtɕi: pu	ʼtsʰə

ただし「犬」の例は、各方言に共通して例外的に歯茎破擦音になる。

以上、藏文足字 y 対応形式は Py, Ky とともに、Phuri 方言を含めここで言及した rGyalthang 下位方言群に属するすべての方言で、基本的に前部硬口蓋音に対応する。

続いて、藏文足字 r の対応形式 (3.1.5 参照) を取り上げる。まず藏文 Pr の対応形式について見ると、以下のように方言によって調音位置が異なる。

表 17 藏文 Pr の音対応

語義	がけ	雲	細い	奪う	蛇
藏文	<i>brag</i>	<i>sprin</i>	<i>phra bo</i>	<i>'phrog</i>	<i>sbrul</i>
YaC	ʻɕaʔ	ˀhɕī	ʻɕʰəʔ h̥tse	ˀxʰuʔ	ˀfi̯ɣu:
YaK	ʻɕaʔ	ˀhɕī	ˀɕʰa fi̯li	ˀxʰuʔ	ˀfi̯gɯ:
YaG	ʻɕaʔ	ˀɕī	ˀɕʰəʔ h̥tsi	ˀɕʰuʔ	ˀzɯ
Ala	ʻɕaʔ	ˀɕī	ˀɕʰəʔ h̥tsi	ˀɕʰuʔ	ˀfi̯zɯʔ
rGyT	ˀɕʰaʔ	ˀɕī	ˀɕʰe ri	ˀɕʰuʔ	ˀzɯʔ
rGyD	ʻɕaʔ	ˀɕī	ˀɕʰe za	ˀɕʰuʔ	ˀzɯʔ
Myi	ʻɕaʔ	ˀhɕī	ˀɕʰeʔ h̥tsi	ˀxʰəʔ	ˀfi̯ɣu:
sKT	ʻɕaʔ	ˀɕī	ˀɕʰaʔ h̥tse	ˀɕʰuʔ	ˀm̥buɯ zɯ:
Phu	ʻɕaʔ kʰa	ˀhɕē	ˀɕʰa lje	ˀɕʰoʔ	ˀfi̯zɯ:

以上の例を見ると、前部硬口蓋摩擦音に対応するものが多いことが分かる。特に Choswateng, Khyimphyuggong, Myigzur の各方言以外は、5つの例すべてで前部硬口蓋摩擦音に対応する。これら3方言については、Choswateng 方言と Myigzur 方言は当該の音対応の面で同様の対応関係を示し、硬口蓋音または軟口蓋音で現れている。一方 Khyimphyuggong 方言では、前部硬口蓋音または軟口蓋音で現れている。ただし軟口蓋音が現れる例については3者に共通で、後続母音が /u, u, ə/ の場合である。以上の例のみでは初頭子音の調音位置は後続母音によって相補分布するように見えるが、少なくとも Choswateng 方言には /ʰɕu:/ 「さる年」(藏文 *sprel*) という例があるため、共時的に完全に相補分布しているとはいえない。

さて、藏文 Pr 対応形式の中で、藏文 'br については閉鎖音に対応し、調音位置は他の Pr 対応形式と同じく、各方言で異なって実現される。

表 18 蔵文 'br の音対応

語義	龍	めすヤク	米
蔵文	'brug	'bri	'bras
YaC	^h ʃoʔ	^h ʃə	^h ɡu:
YaK	^h ʃoʔ	^h ʃə	^h ɡu:
YaG	^h ʃoʔ	^h ʃə	^h ɡu:
Ala	^h ɡʲoʔ	^h ɡʲə	^h ɡu:
rGyT	^h dzɔʔ	^h dzə	^h ɡu:
rGyD	^h dzɔʔ	^h dzə	^h ɡu:
Myi	^h ɡoʔ	^h ʃə	^h ɡe:
sKT	^h dzɔʔ	^h dzə	^h ɡu:
Phu	^h ʃoʔ	^h ʃə	^h ɡu:

「龍」および「めすヤク」の例に現れる初頭子音が蔵文 'br の基本的な音対応と考えることができる。先に見た蔵文 Pr 対応形式で基本的に摩擦音に対応する事例と比べると、方言ごとに若干調音位置についても異なりが認められる。

たとえば、前部硬口蓋摩擦音で現れる方言が相対的に多かったが、蔵文 'br 対応形式に関しては mTshomgolung 方言および rGyalbde 方言の 2 種にしか認められない。各方言における初頭子音の現れは、次に述べる蔵文 Kr 対応形式と関連がある。後に再度言及する。

「米」は例外的対応を見せるが、Suzuki (2012) の議論を参考にすると、蔵文 'br の例外的な対応とみなすことができる。特に Alangu 方言の規則的な対応形式である前部軟口蓋音の例や Myigzur 方言での軟口蓋音の例が存在することで、蔵文 'br 対応形式が軟口蓋音から硬口蓋音まで認められる事例に説明を与えることができるといえるだろう。

次に蔵文 Kr 対応形式について見ると、Pr 対応形式と同じく、以下のように方言によって調音位置が異なる。

表 19 藏文 Kr の音対応

語義	血	ナイフ	髪
藏文	<i>khrag</i>	<i>gri chung</i>	<i>skra</i>
YaC	ʰcʰaʔ	ʰcə zɔ̃	ʰca
YaK	ʰcʰaʔ	ʰcə dzɔ̃	ʰca
YaG	ʰcʰaʔ	ʰcə dzɔ̃	ʰca
Ala	ʰkʰaʔ	ʰke dzɔ̃	ʰkʰa
rGyT	ʰtɕʰaʔ	—	ʰtɕa:
rGyD	ʰtɕʰaʔ	ʰtɕə dzɔ̃	ʰtɕa
Myi	ʰcʰaʔ	ʰkə ^h dzɔ̃	ʰca
sKT	ʰtɕʰaʔ	ʰtɕə dzɔ̃	ʰtɕa
Phu	ʰtɕʰaʔ	ʰtɕə dzɔ̃	ʰtɕa

以上の例を見ると、基本的に硬口蓋閉鎖音、前部硬口蓋破擦音、(前部)軟口蓋閉鎖音のいずれかが対応する。注意したいのは Myigzur 方言の事例で、硬口蓋閉鎖音とともに軟口蓋閉鎖音にも対応する例が認められる点である。ここに挙げたすべての方言で、個別の語彙で軟口蓋閉鎖音に対応する例が認められるが、そのような語彙は方言にかかわらず共通している。ところが Myigzur 方言や Alangu 方言では、「ナイフ」のようにその他の方言が非軟口蓋音をもつような例に現れている。この点に注目し、このような複数の調音位置と対応関係がある方言を1つのグループにまとめるならば、各種音対応と方言の地理的分布の間には一定の関係が認められる。すなわち、Choswateng 方言のように基本的に硬口蓋閉鎖音に対応するタイプの方言は議論の対象にしている地域の南部に分布し、基本的に前部硬口蓋破擦音に対応するタイプの方言は北部・中部に分布し、軟口蓋閉鎖音に対応する例を複数もつタイプのものは東部に分布している。

ただし、Phuri 方言の個別の語には硬口蓋閉鎖音に対応するものがある。たとえば ^hcʰe: ja 「胆嚢」(藏文 *mkhris pa*)、^hcʰu: 「ほどく」(藏文 *'khol*) などがあげられる。ただし大多数の例では上表のように前部硬口蓋破擦音で実現することから、これらは Phuri 方言内で音変化が進行し、硬口蓋閉鎖音から前部硬口蓋破擦音に変化する途上にあるのではないかと推測できる。

ここで先に扱った藏文 'br 対応形式について見返すと、この対応形式に認められる初頭子音の調音位置は各方言における藏文 Kr 対応形式と調音位置と密接に関連し、Myigzur 方言のような複数の音対応を見せる点でも、両者の対応形式は同一と言って

差し支えない。これは音変化を考えるうえで、藏文 Pr 対応形式と藏文 Kr 対応形式を切り離して理解するのではなく、総合的に理解する必要性を示唆している。この点については 4.3 で述べる。

次に藏文 Tr 対応形式について見ると、以下のようにいずれの方言でも基本的にそり舌閉鎖音に対応するものが多い。

表 20 藏文 Tr の音対応

語義	6	尋ねる	鬼
藏文	<i>drug</i>	<i>dri</i>	<i>'dre</i>
YaC	`tɔʔ	ʔə	ʔja ^h ɬə
YaK	`tɔwʔ	ʔə	ʔxa: ^h ɬə
YaG	`tɔʔ	ʔə	ʔha ^h ɬə
Ala	`tɔʔ	ʔə	ʔxa ^h ɬə
rGyT	`tɔʔ	ʔə	ʔxa ^h ɬɣ
rGyD	`tuʔ	ʔə	ʔxa ^h ɬɣ
Myi	`tɔʔ	ʔə	ʔxe ^h ɬə
sKT	`tɔʔ	ʔə	ʔha ^h ɬzɣ
Phu	`tɔʔ	ʔə	ʔxa ^h ɬə

いずれの方言でも基本的にそり舌閉鎖音に対応するが、mTshongu 方言のように一部破擦音に対応する例も認められる。一方で、mTshongu 方言も含め、そり舌閉鎖音系列とそり舌破擦音系列が対立することも注意すべき点である。両系列の対立は方言により徐々に失われつつあり、mTshongu 方言（上表の「鬼」など）や rGyalthang 方言（4.1 参照）のほかにも Sems-kyi-nyila 方言群雲嶺山脈東部下位方言群（1 節参照）の一部の方言についても、特に若年層の発話では、両者の合流がすでにはじまっているようである。

最後に藏文 sr 対応形式について見ると、以下のようにいずれの方言でも基本的に前気音を伴う歯茎摩擦音に対応するものが多い。

表 21 藏文 sr の音対応

語義	命	豆	薄い
藏文	<i>srog</i>	<i>sran ma</i>	<i>srab srab</i>
YaC	ˈ ^h suʔ	ˈ ^h sə jā	ˈ ^h so ^h sɔʔ
YaK	ˈ ^h suʔ	ˈ ^h sɛ̃ jā	ˈ ^h səw ^h sɔʔ
YaG	ˈ ^h suʔ	—	ˈ ^h so: pe
Ala	ˈ ^h suʔ	—	—
rGyT	ˈ ^h suʔ	—	ˈ ^h so: bje
rGyD	ˈ ^h suʔ	ˈ ^h s̃ wā	ˈ ^h sɣ ^h suʔ
Myi	ˈ ^h suʔ	ˈ ^h sɛ̃ ja	ˈ ^h səw ^h sɔwʔ
sKT	ˈ ^h suʔ	—	ˈ ^h sə ^h sɔʔ
Phu	ˈ ^h soʔ	ˈ ^h sɛ̃ ma	ˈ ^h so: pje

基本的に足字 r の脱落と分析できるが、前気音を伴う点が特徴的である。rGyalbde 方言の「豆」が有気音で現れているのは例外的な対応と言えるかもしれないが、このような対応関係はどの方言でもしばしば見られ、必ずしも例外とは言い切れない。

4.3 考察

以上に検討した対応関係のうち代表的な音対応をまとめると、以下ようになる。

[音表記の略号]

t (そり舌閉鎖音を代表), c (硬口蓋閉鎖音を代表), kⁱ (前部軟口蓋閉鎖音を代表), t_ʃ (そり舌破擦音を代表), t_c (前部硬口蓋破擦音を代表), s (歯茎摩擦音を代表), ʃ (そり舌摩擦音を代表), c (前部硬口蓋摩擦音を代表)

以上に言及されない音表記は直接当該音を表す。

表 22 各方言の代表的な音対応のまとめ

藏文形式 ただし	C	C _fi/	Ky	Py	Kr	Pr	Pr 'br	dr	sr
YaC	tʂ	tɕ	tɕ	ɕ	c	ɕ/x	ʎj	t	h _s
YaK	tʂ	tɕ	tɕ	ɕ	c	ɕ	ʎj	t	h _s
YaG	tʂ	tɕ	tɕ	ɕ	c	ɕ	ʎj	t	h _s
Ala	tʂ	tɕ	tɕ	ɕ	k ^j	ɕ	ʎg ^j	t	h _s
rGyT	tʂ	tɕ	tɕ	ɕ	tɕ	ɕ	ʎdz	t	h _s
rGyD	tʂ	tɕ	tɕ	ɕ	tɕ	ɕ	ʎdz	t	h _s
Myi	tʂ	tɕ	tɕ	ɕ	c/k	ɕ/x	ʎj/ʎg	t	h _s
sKT	tʂ	tɕ	tɕ	ɕ	tɕ	ɕ	ʎdz	t/tʂ	h _s
Phu	tɕ	tɕ	tɕ	ɕ	tɕ	ɕ	ʎj/ʎdz	t	h _s

以上のように整理してみると、ここで扱っている諸方言における主要な異なりは藏文 Kr および Pr 対応形式に現れている。また、上表の範囲で見限る限り、Phuri 方言とその他 rGyalthang 下位方言群に属する諸方言の間に認められる異なりは、藏文 C 系列の対応関係のみである。

さて、藏文 Kr および Pr 対応形式について注目すべきは、一部の方言でそれぞれ藏文 Ky および Py 対応形式と同一の対応を見せる点である。これについては、藏文 Ky および Py 対応形式がここで言及しているすべての方言で前部軟口蓋音となっている点および藏文 Kr および Pr 対応形式が各種方言においてさまざまな対応関係を見せる点から、後者が前部硬口蓋音でない音から前部硬口蓋音へと変化したと考えるのが妥当である。仮に藏文 Ky および Kr 対応形式がまず合流し、藏文 Py および Pr 対応形式もまた合流したのであれば、なぜ藏文 Kr および Pr だけが音変化を起こしたのか説明がつかないからである。藏文 Kr および Pr 対応形式においては、音変化の過程において、まず硬口蓋音（Alangu 方言においては前部軟口蓋音；Choswateng 方言および Myigzur 方言については一部軟口蓋音を含む）があり、そのうち前部硬口蓋音に変化したというように、以上に示した言語資料に現れる音を参照する限り 2 段階設定できる。これを藏文 Ky, Pr 対応形式と対照する形で整理すれば、以下のようになるだろう。

表 23 音対応と音変化の順序

藏文	第 1 段階	第 2 段階
Kr	/c/	/tɕ/
	/kʲ, k/	
Ky	/tɕ/	= (維持)
Pr	/ç, x/	/ç/
ただし 'br	/ʎʲ, ɳgʲ, ɳg/	/ʎdz/
Py	/ç/	= (維持)

この 2 段階の音変化について、本節で扱う諸方言では次のように現れている。

1. すべてにおいて第 1 段階の状態を反映しているもの
Choswateng 方言, Myigzur 方言
2. 'br を除く Py のみが第 2 段階に移行しているもの
Khyimphyuggong 方言, Gyennyemphel 方言, Alangu 方言
3. 'br のみ第 1 段階を維持している以外は第 2 段階に移行しているもの
Phuri 方言
4. すべて第 2 段階に移行しているもの
rGyalthang 方言, rGyalbde 方言, mTshongu 方言

この中で、Phuri 方言群は下位方言レベルで異なりがあり、特に藏文 C 系列対応形式にも異なりが見られることから、rGyalthang 下位方言群に属する諸方言との単純な対照には問題があるけれども、'br のみ第 1 段階を維持しているという状況は非常に不安定な音対応を示しているといえる。ただし先に述べたように、Kr 対応形式の中でも部分的な語では硬口蓋閉鎖音をもつものも認められ、しかもそれらは前鼻音を伴う例であるため、第 1 段階から第 2 段階への移行期に属しているのではないかと考えられる。前鼻音をもっている例が比較的安定して硬口蓋閉鎖音を保持しているということである。Phuri 方言の事例を除いて考えると、以上に述べた音対応は 3 種に分かれ、すべてが第 1 段階を保持しているか、すべてが第 2 段階に移行しているか、そして摩擦音のみが第 2 段階に移行したか、と言い換えることができる。rGyalthang 下位方言群における現象を見て判断する限り、硬口蓋音は摩擦音よりも閉鎖音のほうが音体系の歴史的変遷の上で留保しやすい調音方法であることがいえるだろう。

一方で注意が必要なのは、Khyimphyuggong 方言や Phuri 方言には /ç/ という音素が認められ、音体系上硬口蓋摩擦音が存在するけれども、その来歴が蔵文 Pr に対応しない点である。Khyimphyuggong 方言における /ç/ が歴史的に Choswateng 方言のように蔵文 Pr 対応形式の第 1 段階としての硬口蓋摩擦音摩擦音系列が存在したことに由来するものか、まったく別の経路から新たに獲得したものかについては、さらに検討が必要である。一方 Phuri 方言については、/ç/ は蔵文 sl, lh に由来するものが多くを占めることが判明している（鈴木 2013a）。これは rGyalthang 下位方言群には全く認められない特徴であり、Phuri 方言を rGyalthang 下位方言群とは別の下位方言群に属していると判断する 1 つの要素である。

以上の状況について、地理的観点から見ると興味深い点が見えてくる。rGyalthang 方言群の諸方言の中で最も中心的な地位を占める rGyalthang 方言を中心に、そこから離れていけばいくほど第 1 段階すなわちより古い段階の音対応を保存している点である。この状況は、地理言語学的にいうと方言圏論が成立していることを示唆している。

また、先の 2 段階の音変化に関して「以上に示した言語資料に現れる音を参照する限り」と断ったが、これは今後の方言研究を通して他の音変化のタイプを示すものが存在する可能性がある点を考慮しての言及である。また、蔵文の示す音価から第 1 段階への音変化、特に蔵文 Kr, Pr の関わる音変化は、蔵文と口語形式の間に認められる調音位置の差が大きいと見えるかもしれない。当該蔵文と口語形式の間には確かに対応関係が認められるが、蔵文の示す音からいきなり第 1 段階への音変化が起きたかどうかは現段階では検証できない。ただし、Sems-kyi-nyila 方言群において蔵文足字 r が関わる音変化は多様を極めていることから（鈴木 2013b）、今後の調査で音変化を裏づけられる可能性も十分にある。

5 まとめ

本稿では、ほぼ未記述であるカムチベット語 Choswateng 方言について、チベット言語学における記述方法にならい、共時的記述として音声分析を行い音体系を概観し、次に蔵文と対照することを通じて同方言の音対応の特徴を明らかにした。これにより、Choswateng 方言の音組織の概要が理解できるだろう。これはまた付録の語彙リストにおける記述を理解するうえでの基礎である。

以上に加えて、本稿ではさらに Choswateng 方言を取り巻く地域に分布する rGyalthang

下位方言群に属する方言を中心としたチベット語諸方言との比較を行った。その結果、Choswateng 方言が rGyalthang 下位方言群に属する諸方言の中で体系的な前部硬口蓋系列と硬口蓋系列という最も複雑な音体系をもっている点について、それらの各音素が藏文とも周辺の諸方言ともよく対応することが分かった。Choswateng 方言に認められる両系列の対立が周辺の諸方言においては前部硬口蓋系列へ合流を起こしており、周辺の諸方言の音体系が簡素化していることが明らかになった。この点で、Choswateng 方言は古態的な特徴を備えた方言の 1 つであるということが出来る。このような考察を音体系全体にわたって行うことによって、rGyalthang 下位方言群の歴史が詳細に検討でき、ひいてはチベット語方言学に寄与するところが大きくなると見込まれる。

付 記

迪慶州における調査に当たっては昆明市の瑪吉阿米・香格里拉藏族風情宮の関係各位の協力を得た。Choswateng 方言の調査については、友人のアゾン・ドマ [A-bzang sGrol-ma] さんの手配によって実現した。また、Choswateng 方言の調査協力者はロゾン・ラモ [Blo-bzang Lha-mo] さん(女性、20 代)である。ここに記して感謝の意を表する。

筆者による言語資料収集に関する現地調査については、以下の援助を受けている。

- 平成 16-20 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (S) 「チベット文化圏における言語基層の解明」(研究代表者: 長野泰彦, 課題番号 16102001)
- 平成 19-21 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (特別研究員奨励費) 「川西民族走廊・チベット文化圏における少数民族言語の方言調査と地域言語学的研究」
- 平成 21-23 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (A) 「ギャロン系諸言語の緊急国際共同調査研究」(研究代表者: 長野泰彦, 課題番号 21251007)
- 平成 25 年度日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 「言語多様性の記述を通して見る中国雲南省チベット語の方言形成の研究」(研究代表者: 鈴木博之, 課題番号 25770167)

注

- 1) この問題に関して、筆者は独自の記述方法をとっている。この点に関してここで若干の補足説明を加えておく。王曉松 (2008) および朱曉農 (2010:307, 310) の記述では、[ɲ] と [ɲ̥] はそれぞれ異なる音素と認められるという立場をとっている。ところが実際のところ、この 2 種は先行子音によって明確な相補分布の関係にある。このため、音素としては 1 種類と考えることができる。ところが、両者の調音方法は舌の形状に大きな差異が認められるため、ただ 1

つの音標文字をもって代表させるのは好ましくなく、より抽象化した音標文字を定義するなどの方策が望ましいかもしれない。この記述方法はしかしながら、1 節で言及した Tournadre and Suzuki (forthcoming) の提示する *pandialectal phonetic description* の理念と一致を見るものではない。方言研究においては、本稿 4 節のように方言間の比較を行うことを念頭に置く必要があるため、1 方言の内的事情による表記の簡素化は比較時に大きい問題をもたらすことがあるという危惧がある。張濟川 (2009: 358) に類似の指摘がある。

いずれにせよ、先行研究は以上の 2 つの音を 1 音素であると述べない点で問題がある一方、表記の書き分けを行っている点は評価できると考える。

なお、王曉松 (2008) の原文では ‘j’ であるべきところが ‘s’ と書かれているが、単なる誤植であろう。

参考文献

Hongladarom, Krisadawan

1996 Rgyalthang Tibetan of Yunnan: A Preliminary Report. *Linguistics of the Tibeto-Burman Area* 19(2): 69–92.

2000 Rgyalthang Tibetan lexicon and an appraisal of a Southeast Asian wordlist. *Mon-Khmer Studies* 30: 83–94.

2007a Grammatical peculiarities of two dialects of Southern Kham Tibetan. In : Roland Bielmeier and Felix Haller (eds.) *Linguistics of the Himalayas and Beyond*, 119–152, Berlin/New York : Mouton de Gruyter.

2007b Evidentiality in Rgyalthang Tibetan. *Linguistics of the Tibeto-Burman Area* 30(2): 17–44.

華侃 [Hua, Kan] 主編

2002 《藏語安多方言詞匯》蘭州：甘肅民族出版社。

金鵬 [Jin, Peng] 主編

1983 《藏語簡誌》北京：民族出版社。

陸紹尊 [Lu, Shaozun]

1990 〈藏語中甸話的語音特點〉《語言研究》第 2 期 147–159。

格桑居冕 [sKal-bzang `Gyur-med]・格桑央京 [sKal-bzang dByangs-can]

2004 《實用藏文文法教程 [修訂本]》成都：四川民族出版社。

西義郎

1986 「現代チベット語方言の分類」『国立民族学博物館研究報告』11(4): 837–900 + 1 地図。

西田龍雄

1987 「チベット語の変遷と文字」長野泰彦・立川武蔵編『チベットの言語と文化』pp. 108–169, 東京：冬樹社。

瞿霽堂 [Qu, Aitang]・金效靜 [Jin, Xiaojing]

1981 〈藏語方言的研究方法〉《西南民族學院學報》第 3 期 76–84。

蘇郎甲楚 [bSod-nams rGya-mtsho]

2007 〈再論中甸藏語方言〉《蘇郎甲楚藏學文集》130–142, 昆明：雲南民族出版社。

鈴木博之

2005 「チベット語音節構造の研究」『アジア・アフリカ言語文化研究』69: 1–23。

2008a 〈迪慶藏語是康巴藏語中的“一個”次方言嗎〉《康定民族師範高等專科學校學報》第 3 期 6–10。

2008b 「チベット語における「心」「太陽」「月」の方言地理学的分析—“香格里拉”と *sems kyi*

- nyí zla の対応に関連して—』『京都大学言語学研究』27: 23–48。
- 2009a 「迪慶州カムチベット語の方言比較—方言の下位区分をめぐる—」長野泰彦編『チベット文化圏における言語基層の解明—チベット・ビルマ系未記述言語の調査とシャンシュン語の解説 (No. 16102001) 研究成果報告書』3: 1–13。
- 2009b 「迪慶州金沙江流域カムチベット語（奔子欄/尼西/拖頂/霞若/其宗方言）の方言特徴」『ニダバ』38: 29–38。
- 2009c 「納西文化圏のチベット語・永勝県大安 [Daan] 方言の方言所属」『国立民族学博物館研究報告』34(1): 167–189。
- 2010a 「硬口蓋調音の多様性とその表記—雲南省のカムチベット語諸方言の記述から見た考察—」大西正幸・稲垣和也編『地球研言語記述論集』2: 107–113。
- 2010b 「カムチベット語香格里拉県浪都 [Lamdo] 方言の方言所属」『国立民族学博物館研究報告』35(1): 231–264。
- 2010c 「カムチベット語維西塔城 [mThachu] 方言におけるそり舌化母音—その音声学的特徴の記述と分析」『京都大学言語学研究』29: 27–42。
- 2011a 「カムチベット語嘎嘎塘・勺洛 [Zhollam] 方言の文法スケッチ」大西正幸・稲垣和也編『地球研言語記述論集』3: 1–35。
- 2011b 「嘎嘎塘藏語的咽化元音與其來源」《語言暨語言學》12.2: 477–500。
- 2011c 「カムチベット語小中甸・吉念批 [Yangthang/Gyennyemphel] 方言の音声分析」『アジア・アフリカの言語と言語学』6: 137–173。
- 2012a 「迪慶州香格里拉県中央域カムチベット語（建塘/小中甸/格咱方言）の方言特徴」『ニダバ』41: 61–70。
- 2012b 「カムチベット語香格里拉県巴拉 [mBalhag] 方言の方言特徴」『国立民族学博物館研究報告』37(1): 53–90。
- 2013a 「カムチベット語格咱/普上 [Phuri] 方言の方言特徴」『ニダバ』42: 60–69。
- 2013b 「雲南維西藏語的 r 介音音演變—兼談“兒化”與“緊喉”之交又關係—」《東方語言學》第 13 輯（印刷中）。
- Suzuki, Hiroyuki
- 2008a *Development of the affricate series in Shangri-La Tibetan*. Paper presented at 14th Himalayan Languages Symposium (Göteborg).
- 2008b */l - /j/ interchange in Shangri-La Tibetan*. Paper presented at 41st International Conference of Sino-Tibetan Languages and Linguistics (London).
- 2011 *Development of prepalatal and palatal articulations in Khams Tibetan spoken in bDechen Shangri-La (Yunnan)*. Paper presented at 17th Himalayan Languages Symposium (Kobe).
- 2012 À propos du terme ‘riz’ et de l’hypothèse du groupe dialectal Sems-kyi-nyila en tibétain du Khams. *Revue d’études tibétaines* 23: 107–115.
- 2013a Extraordinary sound development of *s and *z in mBalhag Tibetan. *Linguistics of the Tibeto-Burman Area* 36(1): 101–110.
- 2013b *Overview of the dialects spoken in rGyalthang from the historical perspective*. Paper presented at 13th Seminar of the International Association for Tibetan Studies (Ulaanbaatar).
- 鈴木博之, ツェリ・ツォモ [Tshe-ring mTsho-mo]
- 2007 「カムチベット語維西 [Melung] 方言の r 化母音とその来歴」『京都大学言語学研究』26: 93–101。
- Tournadre, Nicolas and Hiroyuki Suzuki
(forthcoming) *The Tibetic Languages: An Introduction to the Family of Languages Derived from Old Tibetan*.
- 王曉松 [Wang, Xiaosong]
- 2008 〈對中甸藏語方言的粗淺認識—從語音上看中甸方言的特點和規律〉《王曉松藏學文集》368-378, 昆明：雲南民族出版社。
- Wang, Xiaosong
- 1996 Prolegomenon to Rgyalthang Tibetan phonology. *Linguistics of the Tibeto-Burman Area* Vol. 19(2)/Fall: 55–67.
- 吳光范 [Wu, Guangfan]
- 2009 《迪慶・香格里拉旅遊風物誌—沿著地名的線索》昆明：雲南人民出版社。
《雲南省誌》編纂委員會 [Yunnan Shengzhi Bianzuan Weiyuanhui]

- 1998 《雲南省誌 59 少数民族語言文字誌》昆明：雲南民族出版社。
- 張濟川 [Zhang, Jichuan]
- 1993 〈藏語方言分類管見〉戴慶廈等編《民族語文論文集—慶祝馬學良先生八十壽辰文集》297-309, 北京：中央民族學院出版社。
- 2009 《藏語詞族研究—古代藏族如何豐富發展他們的詞匯》北京：社會科學文獻出版社。
- Zhang, Jichuan
- 1996 A sketch of Tibetan dialectology in China: Classifications of Tibetan dialects. *Cahiers de Linguistique - Asie Orientale* 25(1): 115-133.
- 趙燕珍 [Zhao, Yanzhen]
- 2012 《趙莊白語參考語法》北京：中國社會科學出版社。
- 朱曉農 [Zhu, Xiaonong]
- 2007 〈說鼻音〉《語言研究》第 3 期 1-13。
- 2010 《語音學》北京：商務印書館。

語彙リスト

配列は華侃 主編 (2002) に準拠し、名詞 (天文地理, 人体, 人物, 家畜, その他の動物, 植物, 食物, 衣料装飾, 住居, 生活用具, その他道具, 文化教育, 抽象物, 位置方角, 時間), 数字, 数量詞, 代名詞, 形容詞, 動詞の順である。名詞は, 意味によって小区分を設けた。

天文地理

天	^h nɔ̃	水害	ʼtɕ ^h u luʔ
太陽	ʼni ma	世界	ⁿ dzɔ̃ bu li
光	^h ni wəʔ	地	ʼs ^h a
月	ⁿ da wa	山	ʼrə
星	^h kə jã	尾根	ʼla
天気	^h nɔ̃ nda	谷	^h rə x ^h ɔʔ
雲	^h çĩ	がけ	ʼçɑʔ
雷	ʼɲɔʔ	岩石	ʼçɑʔ rə
風	^h lɔ̃	洞窟	ʼtɔ̃
雨	ʼtɕ ^h ɭ ja	川	ʼtɕ ^h u
虹	ʼza	湖	ⁿ ts ^h wə
雪	ʼk ^h ɑ:	海	^h dza ⁿ ts ^h wə
雹	ʼç ^h ɑ:	渡し場	ʼtɕ ^h u k ^h a
霜	ʼpa mwə	池	ʼs ^h u ^h dzi
露	ʼsə tɕ ^h u	溝	ʼtɕ ^h u x ^h ɔʔ
霧	ʼnɔ̃ jɔʔ	井戸	ʼtɕ ^h u niʔ
氷	ⁿ jɔʔ	杭	ʼtɔ̃
火	ʼnə	土手	ʼtɕ ^h u k ^h a
煙	ʼte ja	道	ʼlɔ̃
電気	ʼtjē	平原	ʼt ^h ɔ̃
空気	^h bɔʔ	沼	^h dɔ̃
蒸気	^h lɔ̃ ba	土	ʼs ^h a
旱魃	^h kɔ̃	畑	ʼsēj

水田 ʔʂʰu zɛj
 乾燥地 ʔsʰə h̄kō
 農区 ʰrō wa
 石 ʰi dwə
 砂 ʰçā:
 泥 ʰndō baʔ
 水 ʔʂʰu
 波 ʔʂʰu ba
 泉 ʔʂʰu ŋiʔ
 温泉 ʰtsʰə ʂʰu
 森 ʔnaʔ
 草地 ʰpō
 鉱石 ʰi dwə rə
 金 ʰsɿ:
 銀 ʰi ŋuŋ

人体

体 ʰle: pwə
 頭 ʰŋwə
 髪 ʰca
 お下げ ʰca h̄l̄a
 額 ʔʰuʔ pa
 眉毛 ʰi ŋi: h̄pu
 睫毛 ʰi dzə h̄pu
 目 ʰi ŋiʔ
 鼻 ʔŋā:
 鼻の穴 ʰŋa γō
 耳 ʔna z̄wə
 顔 ʰi dō
 ほほ ʰi dō ru:

銅 ʰsō
 鉄 ʰtʂaʔ
 錫 ʰi z̄aʔ
 黄銅 ʰsō
 炭 ʰçʰu: tʰa / ʰçʰu fia
 場所 ʰsʰa ʂʰa
 長江 ʰŋə ʂʰu
 ラサ ʔla sʰa
 ポタラ宮 ʰpu ta la gō
 町 ʰi dzō
 村 ʰji: tsʰwə
 橋 ʰndzō ba
 家 ʰte: daʔ
 故郷 ʔpʰa ju:

口 ʔkʰa
 唇 ʰi ʂʰu h̄pje
 あごひげ ʰŋa tsō
 あご ʰme: ŋə
 首 ʰcaʔ pa
 肩 ʰpō ba
 背 ʰi gō lje
 脇 ʰi ʂʰē laʔ z̄əʔ
 胸 ʰçō
 乳 ʰwā:
 腹 ʰŋa po
 へそ ʰŋa h̄tu fia
 腰 ʰsʰə

尻	ʼ ⁿ ts ^h oʔ ɲaʔ	齒	ʼs ^h wə
太もも	- ^{fi} zo	舌	- ^h tsə lja
ひざ	-pi: mwə	心臟	- ^{fi} ɲi
足	- ^h kə mba	肝臟	- ^{fi} ts ^h ɛ ba
くるぶし	- ^h kō laʔ	腎臟	- ^{fi} k ^{hi} : lja
腕	- ^h pō ba	胆嚢	- ^{fi} tɕ ^h ɛ ba
手	ʼlaʔ ka	胃	- ^h pu wa
指	- ⁿ dzɯ ji	腸	- ^{fi} dzɯ lja
手のひら	ʼlaʔ rjuʔ	大腸	- ^{fi} dzɯ ^h ku:
親指	- ⁿ dzeʔ ^h pěj mwə	小腸	- ^{fi} dzɯ naʔ
中指	- ^h tse ⁿ dzeʔ	大便	- ^h tɕaʔ wa
小指	- ⁿ dze: zō	小便	- ^h tsēj
爪	ʼɕ ^h a mō	屁	- ^ɕ hī
拳	- ^m bu ts ^h uʔ	汗	- ^{fi} ɲu: ts ^h u
皮膚	- ^h a ^h pje	痰	ʼleʔ ɲoʔ
あざ	-ɲjā:	つば	ʼts ^h e jā
傷	- ^{fi} ma	鼻水	- ^{fi} ɲoʔ
傷口	- ^{fi} ma ^{fi} ba	涙	- ^{fi} ni: ts ^h u
しみ	- ^{fi} naʔ	膿	- ^{fi} naʔ
血	- ^ɕ haʔ	垢	ʼtɕeʔ jā
筋肉	- ^h tsə ^{fi} dzɯ	声	- ^h keʔ
脈	- ^ɕ haʔ lō	死体	ʼrwə
脳	- ^{fi} le: wa	命	- ^h suʔ
骨	ʼre kwā	寿命	- ^ɕ hə
肋骨	- ^h tsə: dzɯ		
関節	- ^{ts} h ^h ejʔ		

人物

人	- ⁿ ə	平民	ʼmi ɕ ^h ə
人民	ʼmi ɕ ^h ə	チベット人	ʼpejʔ

漢族	^{-fi} dza	独身	ʼtci: h̄tō
蒙古族	ˋmō ku	学者	ʼji ʔe ^{-fi} zō nə
ナシ族	^{-fi} qzō	代表	ˋtsʰoʔ
ロロ族	ˋlo lo	こじき	^{-h} çō bwə ^{-h} ʃō nə
ペー族	^{-fi} lɛ bo	泥棒	^{-h} kē ma
リス族	ˋlje sʰwə	病人	ˋne: wa
回族	^{-fi} go ^{fi} gu:	仇	^{-fi} da:
半漢半蔵	ˋ ^{-fi} dza mi pejʔ	王	^{-fi} dze: bwə
外国人	^{-fi} dze: kʰoʔ sʰo ʼji ˋnə	官	^{-h} pēj bwə
大人	ˋnə ʼtʃʰu:	首領	ˋgʷə cʰiʔ
子供	ˋçi:	友人	ˋruʔ
赤ん坊	ˋçi: ˋmi mje	お供	ˋlō ruʔ
老人	ˋnə ^{-fi} ge: pʷə	教師	ˋlo: sə
老婦人	ˋma: ma ^{-fi} ge: pʷə	仕立て屋	ˋku zā ^h tʃwi nə
男	ˋnə	靴屋	ˋʃō ^{fi} zwə
女	ˋnə sʰaʔ	石屋	^{-fi} dwə ^{fi} zwə
男女	ˋnə nə ^h ʃaʔ	肉屋	^{-h} ʃe: ʃō nə
少年	ˋpʰu h̄sɿ:	四肢障碍者	^{-h} kō zəʔ
少女	ˋpo mwə	視覚障碍者	^{-fi} niʔ lō
公務員	^{-h} pēj bwə	聴覚障碍者	ˋna wēj
商人	ˋtsʰō ^{-fi} dzo: nə	禿げの人	ˋgo lejʔ
医者	ˋmjē ba	あばたのある人	ˋ ⁿ dza ^h puʔ
農民	ˋʃēj ˋto:nə	猫背の人	^{-h} ta: mwə
軍人	^{-fi} ma: nə	ばか者	^{-h} ko: pa
牧民	^{-fi} dze: tsʰo nə	狂人	ˋŋō ba
牧人	^{-fi} dze: ^{fi} zwə	どもる人	ˋ ^{fi} dza ^h tjo:
大工	^{-fi} zu:	主人	ˋtej ^{fi} daʔ
鍛冶屋	ˋgɿ:	客	^{-fi} ku: mwə
料理人	ˋ ⁿ tʃō sʰa ^{fi} zwə nə	知り合い	ˋŋwə ʃʰi:
英雄	^{-h} pa wə	知らない人	ˋŋwə ˋma ʃʰi: nə

下男	ˈfi:juʔ	父の弟	ˈkuu kuu
下女	ˈfi:jo: mwə	父の弟の妻	ˈʔa wā
祖先	ˈfi:go ˈfi:guʔ	甥	ˈtsʰa wə
祖父	ˈnə nə	兄弟	ˈpu ˈpɛj
祖母	ˈma: ma	姉妹	ˈpɛj
父	ˈba	母の兄弟	ˈʔa:
母	ˈma	母の兄弟の妻	ˈʔa wā
両親	ˈba ma	母の姉妹の夫	ˈʔa zɔ̃ / ˈkuu kuu
息子	ˈpu sʰa	母の姉妹	ˈʔa wā
息子の嫁	ˈfi:na:	父の姉妹の夫	ˈʔa kuu
娘	ˈpo mwə	父の姉妹	ˈʔa ni
娘婿	ˈma wa	義理の父	ˈba
孫息子	ˈtsʰa wə	義理の母	ˈma
孫娘	ˈtsʰa mwə	家族	ˈnɔ̃ nə
兄	ˈja ja	親戚	ˈruʔ
姉	ˈʔa zə	夫	ˈma: wa
弟	ˈni bwə	妻	ˈfi:na:
妹	ˈnə mwə	未亡人	ˈjo: sʰa
父の兄	ˈkuu kuu	孤児	ˈtɕəʔ ləj
父の兄の妻	ˈwā wā		

家畜

家畜	ˈcʰa: cʰaʔ	子牛	ˈpi:
牛	ˈpa	おす牛	ˈfi:lā
黄牛	ˈfi:lā / ˈpa	めす牛	ˈpa
水牛	ˈtɕʰe ˈfi:lɔ̃	乳牛	ˈfi:zɔ̃ ma
ヤク	ˈfi:jaʔ	荷駄獣	ˈkʰi:
めすヤク	ˈʔjə	湿牛糞	ˈpa ˈtɕaʔ
ゾ	ˈn dzwə	乾牛糞	ˈpa ˈtɕaʔ ˈh kɔ̃ bwə
めすゾ	ˈn dzo mwə	角	ˈrwa

皮 ʔkø:
 毛 ʰpu
 尾 ʔnda wā
 馬 ʰta
 子馬 ʰtu:
 荷馬 ʰta kʰi:
 馬糞 ʰta hʔtɕa?
 羊 ʔo?
 綿羊 ʔo?
 めす綿羊 ʔo: ma
 山羊 ʔra
 子山羊 ʔra ʔmi mje
 子綿羊 ʔe fii
 羊毛 ʔpi:
 羊糞 ʔlo: hʔtɕa?
 騾馬 ʔtɕj?
 ロバ ʔtu: ko rwə
 らくだ ʰiŋa mō
 ぶた ʔpʰa?
 めすぶた ʔpʰa: ma
 おすぶた ʔpʰa: ja

子ぶた ʔpʰje
 ぶた糞 ʔpʰa: hʔtɕa?
 犬 ʔtsʰə
 めす犬 ʔtsʰə ma
 猟犬 ʔŋā tsʰə
 犬糞 ʔtsʰə hʔtɕa?
 猫 ʔʔa lju
 うさぎ ʰpō ja?
 鶏 ʔɕa
 おんどり ʔko hʔtu:
 めんどり ʔɕa ma
 ひよこ ʔɕu:
 とさか ʔsə tɕo?
 翼 ʰnɔ: pa
 羽 ʰŋdə wā / ʔɕa hʔpu
 鶏糞 ʔɕe: hʔtɕa?
 鴨 ʔtɕʰu ja / ʔtɕʰu za
 がちょう ʔŋo: pa
 鳩 ʔpʰo? rwī

その他の動物

猛獣 ʰtɕs̄ zē
 虎 ʰta?
 獅子 ʔsʰē ʔjə
 龍 ʔʔjə?
 爪 ʰi bə hʔtɕə:
 猿 ʔʔa hu:
 象 ʰi lā mbwə tɕʰə

野牛 ʰi ja: ʰi gej?
 豹 ʰi zi?
 熊/パンダ ʔtō
 いのしし ʔpʰa: ʰi gej?
 鹿 ʔɕʰa:
 キバノロ ʰi la:
 麝香 ʰi la hʔtsə

野口バ	ʰta ^{fi} gəjʔ	啄木鳥	ʂ ^h ɛj ^h tsɔʔ wə ^ʕ ɛ:
ねずみ	ʕwa	カッコウ	ʰko ku
ねずみ糞	ʕɛ: ^h tɕaʔ	孔雀	ʰma za
リス	ʔ ^h ʂɔ zwa	蛇	ʰɣu:
いたち	ʰɕə mō	蛙	ʰbi: ja
狼	ʰɕō c ^h ə	トカゲ	ʔa ji: ʰdɕə wā
狐	ʕwa	魚	ʕna
鳥	ʕɛ:	虫	ʰm ^h bu
鳥の巣	ʕɛ: ts ^h ɔ	蚤	ʰdɕwa
鳥糞	ʕɛ: ^h tɕaʔ	しらみ	ʕ ^h iʔ
鷹	ʰgəjʔ	蚊	ʰm ^h bu ʂ ^h ə mwə
はやぶさ	ʰc ^h a	蜘蛛	ʰdze ɲa: ka ra
ふくろう	ʕiɔ: pa	蜘蛛の糸	ʰdze ɲa: ka ra ʰts ^h ɔ
ツバメ	ʔ ^h ʂɔ zu mə	ミツバチ	ʰbjɔ
からす	ʕa ruʔ	蝶	ʕ ^h ā: ka lɔʔ
鸚鵡	ʔa wə ɲe tswə		

植物

木	ʕ ^h ɛj pō	桃	ʰɔ bu
枝	ʕ ^h ɛj laʔ	梨	ʰɕə lɔ
根	ʕ ^h ɛj ^h tsa	みかん	ʰɲu ja: k ^h ɔ bu
葉	ʔa laʔ	柿	ʰoʔ rwə
花	ʰmbe duʔ	はすの花	ʰpe: ma
柳	ʰlɔ fia ʂ ^h ɛj pō	冬虫夏草	ʰm ^h bu ^h tsa
松	ʔ ^h ʂɔ ʂ ^h ɛj	サトウキビ	ʰjɔ ʂ ^h ɛj
松脂	ʔ ^h ʂɔ tʂ ^h u	胡桃	ʰgo t ^h wə
梅檀	ʰtsɛj ʂɛj	穀物	ʔ ^h uʔ
竹	ʰɲiʔ ja	食料	ʰdzɔʔ
果物	ʰɕɛ: t ^h o	米	ʰɲu:

種 ʼs^ho nēj
 穂 ʼŋi ma
 玄米 ʼɲju fia
 小麦 ʼcwə
 裸麦 ʼna:
 とうもろこし ʼk^ha ʃ^hēj
 大麻 ʼçā:
 野菜 ʼts^hə je:
 大根 ʼlo pɔ?
 唐辛子 ʼfi gə mu

食物

ごはん ʼsē
 粥 ʼɲgu: t^hɔ?
 小麦粉 ʼfi dē
 モモ ʼk^hwa
 麵 ʼmjē
 蒸しパン ʼmo mo ʼk^hwa
 朝食 ʼʃu: ra
 昼食 ʼç^he dʒa
 夕食 ʼsā:
 ミルクティー ʼtʃa^h kuu:
 肉 ʼʃ^ha
 赤身 ʼʃ^ha na?
 油 ʼŋū
 植物油 ʼŋū na?
 脂肪油 ʼtç^hə
 バター ʼmu:
 脱脂粉乳 ʼtʃ^hu ɣwa:

たまねぎ ʼtsō
 ジャガイモ ʼjā ju
 食用種子 ʼkwa
 大豆 ʼh^hsə jā
 落花生 ʼxwa ʃē
 草 ʼh^htswa
 きのこと ʼʃ^hō:
 ひまわり ʼkwa tsə ʼmbe du?
 米 ʼɲgu:

ヨーグルト ʼʃwə
 チーズ ʼt^hej?
 ツアンパ ʼh^htsā mba
 牛肉 ʼʃ^hej ʃ^ha
 塩 ʼts^ha
 砂糖 ʼfi jō^h kuu:
 卵 ʼfi gwa
 スープ ʼç^hə fia
 酒 ʼtʃ^hɔ / ʼʔa ru?
 湯 ʼtʃ^hu^h fi gu:
 茶 ʼtʃa
 タバコ ʼjē
 葉 ʼmjē
 ぶたの餌 ʼp^ha: h^htwə
 鼻タバコ ʼŋa da

衣料装飾

糸	^h ku ja	靴下	ʼwa tsə
布	ʼre:	靴	ṽṽ
絹	ʼtu ^h kejʔ	ブーツ	ⁿ dzuʔ ^h ta
絹製品	ʼko tṣē	シャツ	ʼnō ha ⁿ tʰaʔ
コート	ʼre: ʼku zē	起毛ジャケット	^h lɑ: pa
袈裟	^h zē	ハンカチ	ʼha ⁿ dʒi
毛織物	ⁿ tʰi: jā	櫛	ʼsʰwə ɲə
衣服	ʼku zē	カーテン	^h ba ju
チュバ	ʼpe: ^h gwē	宝石	ʼno: ^h bu
襟	^h cə paʔ	珊瑚	ʼcə rɔʔ
袖	ʼpʰu ⁿ dō	象牙	ʼpa sʰwə
ボタン	^h bej tɕə	イヤリング	^h na lo ⁿ tʰa: sʰa
ズボン	^h to ma:	ネックレス	^h ca pa ⁿ tʰu: sʰa
スカート	ʼtɕʰəj ^h gu:	指輪	ʼsʰu duʔ
スカーフ	ṽṽ ^h tɕi:	ブレスレット	ʼlɑ: ɲō
帽子	ʼṣwa		
ベルト	^h kə raʔ		

住居

枕	ṽṽɕ: / ʼɲɕ: ^h pō	階層建築	ṽṽ ^h ō ^h kō rē
布団	^h lo ^h dē	階上	^h gō
座布団	^h dē	階下	ʼṣoʔ
家	ṽṽ ^h ō	倉庫	ʼpjō
屋根	^h gu ^h dī	牛小屋	ʼcʰuʔ ra
宿屋	^h de: sʰa	ぶた小屋	ṽṽ ^h ɑʔ tsʰō
軒	^h gu: / ^h gu kʰa	馬小屋	^h ta ra
土台	ṽṽ ^h a zī	羊小屋	ʼloʔ ra
キッチン	ʼsē ^h zu sʰa	鳥小屋	ʼca tō

レンガ ʔtɕwā
 瓦 ʔwa
 壁 ʔtɕō
 丸太 ʔɕʰēj
 板 ʔʰpō ljoʔ
 柱 ʔka:
 門 ʔᶜᶜgwə
 門 ʔᶜᶜgu n da
 玄関 ʔᶜᶜgwə dʒā

窓 ʔᶜᶜgwə zō
 階段 ʔʰke:
 梁 ʔᶜᶜdō ma
 ステップ ʔʰke:
 テント ʔko:
 竹垣 ʔᶜᶜdō ra
 庭 ʔᶜᶜdza ra
 トイレ ʔsʰə sʰō ᶜᶜde: sʰa

生活用具

もの ʔce wa
 テーブル ʔtso: tsə
 いす ʔᶜᶜdo: ᶜᶜdē
 ベッド ʔcʰə
 箱 ʔᶜᶜgō
 キャビネット ʔᶜᶜgō
 入れ物 ʔᶜᶜgō
 ガラス ʔɕʰi: ᶜᶜgwə
 鏡 ʔɕʰi: ᶜᶜgwə
 箒 ʔcʰaʔ ma
 明かり ʔtē
 蠟燭 ʔla tɕsu
 薪 ʔɕʰēj
 炭 ʔcʰu fia
 線香 ʔʰpēj
 染料 ʔtɕʰu:
 かまど ʔʰōʔ xʰa
 鉄なべ ʔᶜᶜtɕʰa: dzā

フライパン ʔtsʰō ja ŋō sʰa
 蒸し器 ʔʰpō sʰa
 ふた ʔkʰa ljoʔ
 ナイフ ʔcə zō
 柄杓 ʔʰtɕaʔ zɪ:
 スプーン ʔkʰō djɯ
 シャもじ ʔsʰō tʰō
 木製椀 ʔɕʰēj pʰu:
 ボウル ʔpʰə rə
 皿 ʔᶜᶜdi:
 箸 ʔɕʰō
 瓶 ʔca:
 ポット ʔᶜᶜdzā:
 壺 ʔtɕʰa xu
 茶漉し ʔtɕa tsʰaʔ
 水がめ ʔtɕʰu ra
 バケツ ʔtʰō
 木製盆 ʔpʰē tsə

背負いかご	ʼc ^h a buɹ	傘	ˀ ^{fi} doʔ
ふいご	ˀwo: toʔ	鎖	ˀ ^{fi} go x ^h ɔʔ
吊りベルト	ʼt ^h aʔ ja	車輪	ˀ ^m bwə lwə
秤	ˀ ^{fi} dzã:	鞍	ˀ ^h ta ^{fi} ga
斗	ˀ ^{fi} dza ma	鞭	ˀ ^h ta ^h ʈsɔʔ
お金	ˀ ^{fi} ɲuɟ	めがね	ˀ ^{fi} ni: ɣ ^{hi} :
商品	ˀce wa	印鑑	ˀ ^h iʔ
定規	ʼsə tsə	牛皮繩	ˀkwa: ji ʼt ^h aʔ ja
針	ˀ ^h ɔʔ	船	ˀwa
はさみ	ʼtɕ ^h a: tɕ	電車	ˀxwo ʈs ^h e
はしご	ˀ ^h ke:	飛行機	ˀ ^h ʈsɔ: za

その他道具

道具	ʼla: ʈs ^h e	包丁	ʼsə lɔ
斧	ˀ ^h ta rə	ほら貝	ʼtɔ
金槌	ˀ ^h o wa	銃	ʼnə ⁿ da
鋸	ʼs ^h o ljə	弾	ˀ ⁿ du:
鋤	ˀ ^{fi} nə ^h ɣɕej	矢	ˀ ⁿ da
鉄の鋤	ˀ ^h ɔ ba	わな	ˀ ⁿ ə
鋤	ʼp ^h a tsə	落とし穴	ˀ ⁿ ə
皮の袋	ˀkwa je ˀ ^{fi} dzwə	火薬	ʼnə ^{fi} dzə
ガソリン	ˀ ⁿ ū	毒	ʼtoʔ
縄	ʼt ^h aʔ ja	網	ʼtɕa
肥料	ʼluɟʔ	贈り物	ˀ ^h la: mbɔʔ
鎌	ʼso wa	ノート	ʼje jə
水槽	ˀ ^h ɔ:	キルト	ˀ ^h pej xo
ふるい	ˀ ^{fi} jə s ^h ɔʔ	マットレス	ˀ ⁿ e: ^h pã
織機	ˀ ^h ə tɕ ^h i		

文化教育

文字	ʼje jə	鬼	ˀŋa ˀdɔ
絵	ˀh u xwa	女鬼	ˀh sɛ mwə
本	ʼje jə	悪魔	ˀh duuj? / ˀh duuj? p ^h wə / ˀh duuj? mwə
紙	ˀs ^h ɐ ji	靈魂	ˀh la wā
ペン	ˀpi	魂	ˀh la
インク	ˀŋɑ?	円寂	ˀh sɑ?
学校	ˀɕwo t ^h ā	天堂	ˀla ji:
話	ˀk ^h a s ^h wə	運	ˀh lɔ da
チベット語	ˀpe ^h ke?	縁	ˀle:
チベット文語	ˀpej ji?	善行	ˀle: ˀi zā bwə
名前	ˀnɔ	ラマ	ˀh la ma
姓	ˀnɔ	活仏	ˀh la ma
記号	ˀh tɑ?	僧侶	ˀʔa dɑ?
新聞	ˀpo tʂə	尼	ˀtʂo mwə
物語	ˀh tɔ ˀp jə	ボン教	ˀpɛj
ことわざ	ˀh tɔ ˀk ^h e: ˀp ə	還俗僧	ˀpɛ lu?
笑い話	ˀh ga zwə zwə	占い師	ˀh mwə ˀh do: nə
声	ˀh ke?	地獄	ˀh ŋɔ: wā
歌	ˀh jɔ	経堂	ˀla k ^h ɔ
民謡	ˀʔa la	六字真言	ˀma ŋe
踊り	ˀts ^h ə la? ˀh dɔ	白塔	ˀh tʂ ^h o ˀh tɪ
太鼓	ˀh ŋa	火葬	ˀh sɑ?
ベル	ˀtʂ ^h w ts ^h əj?	墓	ˀto:
ラッパ	ˀtɔ	バター灯	ˀmu: ˀnə
お面	ˀm bɑ? ˀg wə	生命樹	ˀh la s ^h ɛj
宗教	ˀtɕ ^h u:	呪文	ˀŋɑ?
宗派	ˀtɕ ^h u: k ^h w	数珠	ˀɕ ^h e ŋa
信仰	ˀh dɪ pa	金剛	ˀh do zə
神仏	ˀla	天蓋	ˀh dze ˀts ^h ɛ
女神	ˀla mwə		

抽象物

地位	ʼko s ^h a	夢	ˀ ^{fi} nə lɔ̃
権力	ˀ ^{fi} bō	精神	ʼç ^h ɔ̃ nə
給料	ʼkō tsə	考え	ʼtɕ ^h ts ^h a
税金	ˀ ^{fi} gə k ^h i:	外見	ˀ ^l qɑ ts ^h u:
優待	ˀ ^p hɛ̃ nūj	事情	ʼle:
答え	ʼlɛ̃ h ^h tje	力	ˀ ^s h ^h u?
苦しみ	ˀ ^{fi} dɔ̃?	監獄	ʼlo kɛ?
間違い	ˀ ⁿ u:	うわさ	ˀ ^h tɔ̃
危険	ʼk ^h e ɲɛ: tɕ ^h u:	裸足	ˀ ^h kɔ̃ ˀ ^{fi} dzə:
区別	ˀ ⁿ ma ˀ ^l qɑ s ^h a	引き出し	ˀ ^h kā tɕō
空間	ˀ ^ç h ^h u?	勝利	ˀ ^h tɑ?
吉祥	ˀ ^h tɑ ɕ ^h i pa	国家	ˀ ^{fi} dze: k ^h ɔ̃?
感謝	ʼk ^h a rɛ̃	経験	ˀ ⁿ ɔ̃
裂け目	ˀ ^l ge: ts ^h a	会議	ʼk ^h aj xwi
痕跡	ˀ ^{fi} dzi:	距離	ʼlɔ̃ t ^h ɑ?
沈殿物	ˀ ⁿ ja: ma	歩行	ˀ ^h kā ba ˀ ^m p ^h o x ^h o
影	ˀ ^ʔ a ˀ ^l ga		
色	ˀ ^t ç ^h u: k ^h a		

位置方角

方向	ˀ ^ç h ^h u?	右	ˀ ^t e la?
東	ˀ ^ɕ h ^h ɲ: ç ^h u?	前	ˀ ⁿ je ma
南	ˀ ^l o ç ^h u?	後	ˀ ^l gu t ^h a
西	ˀ ⁿ ō ç ^h u?	外側	ˀ ⁿ dzo?
北	ˀ ^ç ɔ̃ ç ^h u?	内側	ˀ ⁿ ɔ̃
中間	ˀ ^h tsə: h ^h ki?	隅	ˀ ^s o:
そば	ˀ ⁿ ɔ̃ zo?	先端	ˀ ^h tsɔ̃
左	ˀ ^t s ^h ə du? / ˀ ^{fi} je la?	周り	ˀ ^t s ^h ə du? p ^h ə du?

近所 ʔ^ha: t^hɔ̃
境界線 ʔⁿts^heʔ
頂上 ʔⁿgu^htɪ
上側 ʔ^hgɔ̃ t^huʔ
下側 ʔso: ra
上 ʔ^hgɔ̃
下 ʔso: rə
下の方 ʔsoʔ
高いところ ʔ^hgɔ̃

以上 ʔⁿdə: ʔgə^htɕe
以下 ʔⁿdə ʔsɪ: dɕe
上へ ʔfiu^hgɔ̃
下へ ʔsə sɔʔ
上半身 ʔle: pwa ʔfiu^hgɔ̃
下半身 ʔle: pwa ʔsoʔ
端 ʔⁿt^ha
底 ʔsoʔ

時間

時間 ʔtɕi ts^heʔ
今日 ʔta rɛj
昨日 ʔk^hɛ tsɔ̃
おととい ʔk^haj ʔnɛ bwə
さきおととい ʔŋe: ʔnɛ bwə
明日 ʔs^hɔ̃ nɪ
あさって ʔ^hno: nə
しあさって ʔ^hnɔ̃ dzoʔ
今晚 ʔto nuʔ
明日の晩 ʔs^hɔ̃ nuʔ
昨日の晩 ʔk^hə nuʔ / ʔnə s^hɔ̃
昼間 ʔnɪ bu
朝 ʔso: wa
正午 ʔtə tɔ̃ fiɔʔ
夕方 ʔs^hə gə
夜 ʔnɔ̃ ɕeʔ
夜中 ʔⁿts^hɛ
真夜中 ʔⁿts^hɛ ɕ^heʔ
えと ʔlo s^hɛ

ね ʔɕwa
うし ʔ^hiɔ̃
とら ʔ^htaʔ
う ʔju:
たつ ʔⁿɔ̃ʔ
み ʔju:
うま ʔ^hta
ひつじ ʔɔʔ
さる ʔ^hɕu: / ʔhu:
とり ʔɕa
いぬ ʔts^hə
ふた ʔp^huʔ
日 ʔni: rə
1 日 ʔtɕ^hi: ziʔ
2 日 ʔtɕ^hi: nə
月 ʔⁿda wa
午前 ʔso wa
午後 ʔɕ^he ra nⁿt^hɔ̃ tu: / ʔtu rɔ̃ nⁿt^hɔ̃ tu:
1 月 ʔⁿda ziʔ

2月	ⁿ da nə	再来年	^{fi} nō lwə
12月	ⁿ da wa ^h tʂo: nə	昔	^ŋ e: ma
上旬	ⁿ da wa ^ŋ gwə	今	ʔe:
中旬	ⁿ da ^h tse	未来	^s hō jō pe: k ^h ə
下旬	ⁿ da ⁿ t ^h a	はじめ	^ŋ go ^ŋ gu:
誕生日	^h tʂə tʂ ^h i	春	^h ʂe? / ^z ɿ k ^h a
年	ɿlwə	夏	^{fi} jə k ^h a
年齢	ɿlwə	秋	^h təj k ^h a
最近	ⁿ e nɑ: ^{fi} ge gə	冬	^{fi} gūj k ^h a
今年	ʔo lwə	新年	ɿlwə ^h sɿ:
去年	ʔna ni	閏月	ⁿ da lɑ?
おとどし	^ŋ ē ni	祭り	ʔtuɿ tʂ ^h ē
来年	^s hō lwə		

数字

一	^h tʂi?	十五	^h tʂe: ŋa
二	ⁿ əj	十六	^h tʂə tʂ?
三	^h sō	十七	^h tʂu: ^{fi} dē
四	ʔzə	十八	^h tʂu: ^{fi} dze?
五	ⁿ ja	十九	^h tʂu: ^{fi} gwi
六	^h tʂ?	二十	ʔnə ʂ ^h w
七	^{fi} dē	二十一	ʔnə ʂ ^h w ^h tʂa: ^h tʂi?
八	^{fi} dze?	二十八	ʔnə ʂ ^h w ^h tʂa: ^{fi} dze?
九	^{fi} gwi	三十	^s hō tʂu
十	^h tʂu	三十二	^s hō tʂu ^h tʂa: ^{fi} nəj
十一	^h tʂo: zi?	三十八	^s hō tʂu ^h tʂa: ^{fi} dze?
十二	^h tʂo: nə	四十	ʔzə ^h tʂu
十三	^h tʂo: ^h sō	四十三	ʔzə ^h tʂu ^h tʂa: ^h sō
十四	^h tʂu: zə	五十	ⁿ ja ^h tʂu

五十四 ʔŋa h̄t͡suw h̄tsa: zə
 六十 ʔtɔ: t͡suw
 六十五 ʔtɔ: t͡suw h̄tsa: ŋa
 七十 ʔd̄ē t͡suw
 七十六 ʔd̄ē t͡suw h̄tsa tɔ?
 八十 ʔd̄ze: t͡suw
 八十七 ʔd̄ze: t͡suw h̄tsa: ʔd̄ē
 九十 ʔḡu w h̄t͡suw
 九十八 ʔḡu w h̄t͡suw h̄tsa: ʔd̄ze?
 九十九 ʔḡu w h̄t͡suw h̄tsa: ʔḡu w

百 ʔd̄za
 百一 ʔd̄za: d̄ə h̄t͡ci?
 百八 ʔd̄za: d̄ə ʔd̄ze?
 百八十 ʔd̄za: d̄ə ʔd̄ze: t͡suw
 千 ʔt̄ō t̄h̄a?
 万 ʔt̄h̄ə t̄h̄a?
 十万 ʔmbu t̄h̄a?
 半分 ʔçh̄e?
 第 1 ʔʔã ʔt̄ã mwə

数量詞

1 人 ʔnə h̄t͡ci?
 1 碗 ʔp̄h̄ə rə h̄t͡ci?
 1 腔 ʔk̄h̄ũ mwə ʔk̄ō
 1 ページ ʔhp̄ō ljo? h̄t͡ci? / ʔs̄h̄u: ljo? h̄t͡ci?
 1 本の草 ʔh̄tswa h̄t͡ci?
 1 粒の米 ʔḡu: ʔga h̄t͡ci?
 1 つかみの野菜 ʔts̄h̄ə ja je ʔhp̄ō h̄t͡ci?
 2 つかみの米 ʔḡu: ʔhp̄ō bo ʔnəj
 1 杯 ʔp̄h̄ō ʔk̄ō
 1 桶の水 ʔt͡s̄h̄u t̄h̄ō ʔk̄ō
 1 碗のごはん ʔḡu: ʔp̄h̄ə rə ʔk̄ō
 1 つかみの土 ʔsh̄a rē h̄t͡ci?
 1 時間 ʔt͡s̄h̄u ts̄h̄əj? h̄t͡ci?
 1 輪の花 ʔmbe du? h̄t͡ci?
 1 文 ʔk̄h̄a s̄h̄wə h̄t͡ci?
 1 そろいの靴 ʔt̄ō ʔt͡s̄h̄a h̄t͡ci?
 1 対のウサギ ʔhp̄ō ja? ʔt͡s̄h̄a h̄t͡ci?

1 群れの羊 ʔt̄ō? jwə h̄t͡ci?
 1 区画の道路 ʔl̄ō ts̄h̄ej? h̄t͡ci?
 1 節 ʔts̄h̄ej? ʔk̄ō
 1 日の旅程 ʔŋa: h̄t͡ci? je ʔl̄ō t̄h̄a?
 片方の靴 ʔl̄ō ja h̄t͡ci?
 1 巻きの紙 ʔs̄h̄ə ji t̄h̄ō ʔk̄ō
 1 口の食事 ʔs̄ē t̄h̄o? ʔd̄zi ʔt͡s̄h̄a
 1 枚の布 ʔre: ʔa: h̄t͡ci?
 1 かご ʔs̄h̄ə bu ʔk̄ō
 1 セット ʔhp̄ō ʔk̄ō
 1 歳の馬 ʔlwə h̄t͡ci? je ʔh̄ta
 1 袋 ʔd̄ze? ʔk̄ō
 1 串の玉 ʔçh̄e ŋa h̄t͡ci?
 1 滴の油 ʔŋũ na? ʔt̄h̄i? h̄t͡ci?
 2 階 ʔt̄h̄ō h̄tu: ʔnəj
 1 つの部屋 ʔt̄h̄ō h̄t͡ci?
 1 瓶の酒 ʔʔa ra? ʔca: ʔk̄ō

1 つの泥	^ˈ n dɔ̃ bɑʔ h tɕiʔ	一生	^ˈ ŋe tɕ ^h ə h tɕiʔ / ^ˈ ŋe ɕ ^h ə h tɕiʔ
1 斤	^ˈ dz̄ɑ: ʔ kɔ̃	1 歩	^ˈ pɔ̃ mba ʔ kɔ̃ pə
1[肘の長さの単位]	^ˈ kɔ̃ ts ^h oʔ h tɕiʔ	1 度	^ˈ fiu h tɕiʔ
1 寸	^ˈ ts ^h e h tɕiʔ	1 声あげる	^ˈ fiu h tɕiʔ ^ˈ m bejʔ
1 元	^ˈ ʧ ^h ə h tɕiʔ	1 回打つ	^ˈ h tɕiʔ ^ˈ fi loʔ
1 角	^ˈ h tɔ̃ h tɕiʔ	1 噛みする	^ˈ k ^h a h kɔ̃ ^ˈ ɳ dɕɛ:
1 分	^ˈ h ku: h tɕiʔ	いくらか	^ˈ h tsə h keʔ / ^ˈ h tse: rə
1 畝	^ˈ mu h tɕiʔ	いくつか	^ˈ ɳ ga: rə
少しの間	^ˈ h tsə h keʔ	毎日	^ˈ ŋi t ^h i: / ^ˈ ŋi: tə ʧ ^h ɛ: ʔ kɔ̃
1 日	^ˈ ŋɑ: h tɕiʔ	それぞれ	^ˈ kē ɳ ga:
1 夜	^ˈ ts ^h ɛ h tɕiʔ	1 倍	^ˈ ŋi ^ˈ fi luʔ
1 か月	^ˈ da wa h tɕiʔ	毎晩	^ˈ nu: tə ʧ ^h ɛ:
1 年	^ˈ lwə h tɕiʔ	1 すくい	^ˈ la: x ^h oʔ ʔ kɔ̃
1 歳	^ˈ lwə h tɕiʔ		

代名詞

私	^ˈ ŋɑ	自分	^ˈ ŋɑ ^ˈ ŋɑ
私たち 2 人	^ˈ ʔɑ wo nəj	他の人	^ˈ h o ŋɑ: kē
私たち	^ˈ ʔɑ wo kē	これ	^ˈ n djə / ^ˈ ndjə
あなた	^ˈ tɕ ^h ɛʔ	これら	^ˈ ʔɑ ŋi ɕ ^h ə
あなた (敬称)	^ˈ tɕ ^h ɛʔ	ここ	^ˈ nde za
あなたたち 2 人	^ˈ tɕ ^h ɛʔ ŋɑ: nəj	この辺	^ˈ n di je / ^ˈ ndi duʔ
あなたたち	^ˈ tɕ ^h ɛʔ ŋɑ: kē	この 2 つ	^ˈ ndjə nəj
彼 (彼女)	^ˈ k ^h wə	このような	^ˈ fi o ŋi ^ˈ ɳ da
彼ら 2 人	^ˈ k ^h o ŋɑ: nəj	あれ (近)	^ˈ wo tje
彼ら	^ˈ k ^h o ŋɑ: kē	あれ (遠)	^ˈ ʔɑ tje
我々	^ˈ ʔɑ wo kē	あれら	^ˈ ʔɑ tə ɕ ^h ə
我々 2 人	^ˈ ʔɑ wo nəj	あそこ	^ˈ ʔɑ tje za
皆	^ˈ ʔɑ wu kē	あの辺	^ˈ fi o duʔ

あのような ʼfio tə ʷda
 誰 ʼsʰu
 誰ら ʼsʰu ŋa: kē
 何 ʼkə dju / ʼkə lju
 どこ ʼka: za
 いつ ʼkə zē
 どのように ʼkə zo?
 どれくらい ʼkə zeʔ

いくつ ʼmə ŋō ʼkə zeʔ
 そのほか ʼsʰo ja: cʰə
 おのおの ʼrō rō
 一切 ʼkē ʷga
 すべて ʼkē kē
 今回 ʼfio ŋi ʼfiu nə
 いつか ʼtʰɔ: rə tʰɔ: sə

形容詞

大きい ʼn da ʷde
 小さい ʼmi mje
 太い ʼfi bu tēj
 細い ʼçʰə hʰtse
 高い ʼfi gō rī
 低い ʼnde ʷdzəʔ
 凸の ʼsʰu fio
 凹の ʼxʰɔ?
 でこぼこの ʼn tʰo ʷtʰo mi mje
 長い ʼrēj bwə
 短い ʼtʰō lej
 遠い ʼɔ dzō rēj
 近い ʼtʰa: tʰō
 中間の ʼma rēj ʼma tʰō
 幅広い ʼfi dza rēj
 狭い ʼfi dza rō / ʼfi du: çʰa
 広々した ʼfi dza rēj
 狭窄の ʼfi du: çʰa
 厚い ʼn tʰɔʔ pa
 薄い ʼh so hʰsɔʔ

深い ʼsɔʔ
 浅い ʼh so hʰsɔʔ
 満ちた ʼkō
 空の ʼh tō ba
 多い ʼmō bwə
 少ない ʼŋə ŋō
 四角い ʼrə kō
 丸い ʼfi go ʰgu:
 平たい ʼljə ljəʔ
 尖った ʼh tsō çʰa
 はげた ʼɔ gwə leʔ
 水平の ʼɔ gwə ljəʔ
 おもての ʼtō çʰuʔ
 命中した ʼn tʰiʔ
 偏った ʼxʰeʔ xʰeʔ
 歪んだ ʼjwə jwə
 横の ʼh xə ŋi: tsa
 縦の ʼh si ʼtō bwə
 まっすぐな ʼtō bwə
 曲がった ʼfi go ʰgo:

曲がりくねった	^{-fi} gə ^{fi} go:	滑る	^{-fi} jə lej
黒い	[^] na? na?	きつい	[^] tō ɕ ^h a
白い	^{-h} ku ^h ku:	ゆるい	[^] lu lu?
赤い	^{-fi} mo: ^{fi} mo:	固い	^{-h} sa ^h kō
黄色い	^{-s^h} ə s ^h ɿ:	乱れた	[^] kē [a?
緑の	^{-fi} dzō	正しい	⁻ⁿ dzo: ^h twə
青い	^{-ŋjō} ŋjō	誤った	[^] nu:
明るい	^{-h} ei: ɕ ^h a	真の	⁻ⁿ di: ^m bje
暗い	[^] na: ^{fi} gō	にせの	^{-fi} də: zwə
重い	^{-fi} dze: ba	生の	[^] ma ŋi: to
軽い	jā ɕi	新しい	^{-h} si: ja
速い	⁻ⁿ dza wa	古い	^{-ŋi} ba
ゆっくりの	[^] ka lje	よい	jā pwə
早い	^{-ŋjā}	悪い	^{-t^h} ē
遅い	^{-s^h} ə	弱い	[^] sē le?
鋭利な	^{-fi} nwə ɕ ^h a	高い	[^] kō [^] ne:
鈍い	[^] ma ^{fi} nwə	安い	[^] kō jō
澄んだ	[^] tō ra?	育ちすぎの	^{-fi} ge:
太った	^{-fi} dza: ba	年老いた	^{-fi} ge:
肥えた	^{-fi} dza: ba	若い	[^] lo t ^{s^h} ō
やせた	^{-h} kō bwə	美しい	⁻ⁿ dzi: bwə
乾いた	^{-h} kō bwə	醜い	[^] tsu lje
湿った	^{-ʃl} wa / [^] ʃl: ɕ ^h a	熱い	[^] ts ^h a ɕ ^h a
濃い	[^] ka lje	寒い	[^] cō ɕi
希薄な	[^] tō ra?	暖かい	[^] to? lu?
疎な	[^] ŋə ŋō / ^{-h} so ^h so?	温暖な	[^] tō bwə
硬い	^{-h} sa ^h kō	涼しい	[^] cō ɕi
軟らかい	[^] ŋə lej	難しい	[^] le: ^h ka
粘つく	[^] ɕu: we?	簡単な	[^] le: ^h ja
つるつるの	^{-fi} jə lej	芳しい	[^] ʃō mwə ŋō
ざらざらの	^{-h} təō ɕ ^h a		

くさい ʔtsu lje nō
 おいしい ʔsō bwə
 酸っぱい ʔh tco: ɕʰa
 甘い ʔfi ŋu: ɕʰa
 にかい ʔkʰa ɕʰa
 辛い ʔfi bo:
 塩辛い ʔtsʰa ʔku: ɕʰa
 淡泊な ʔtsʰa ʰ dzō
 暇な ʔkʰō
 忙しい ʔma kʰō
 裕福な ʔcʰo: bwə
 貧しい ʔfi la: h twə
 清潔な ʔh tsō
 汚い ʔtsu lje
 生きている ʔsʰu: lje
 新鮮な ʔh sɿ: ja
 死んだ ʔsʰə twə
 明確な ʔh ci: pwə
 おいしい ʔsō bwə
 聞きよい ʔnē ʔfi dō nə
 見よい ʔdzɿ: bwə
 うるさい ʔn tsʰu: / ʔfi ba:
 つらい ʔfi do: cə
 退屈な ʔmə ʔfi dzə nə
 急ぎの ʔdzə wa
 色とりどりの ʔcʰa cʰa
 賢い ʔfi le? pa ʔfi na ɕʰa
 愚かな ʔh ko: pa

正直な ʔtō bwə
 ずる賢い ʔn guj ɕʰa
 注意深い ʔsʰu: tsʰa?
 和やかな ʔn dzō pwə
 傲慢な ʔwa ʔfi dzō:
 適当な ʔn dō zo?
 凶悪な ʔh sē ŋē
 厳しい ʔwa ʔfi dzō:
 けちな ʔh tse: kwa
 まじめな ʔle: ʔh tʂa: kwə
 怠惰な ʔma nə pa
 平凡な ʔh ko?
 行儀のよい ʔkʰa ʔnē twə
 がんばった ʔfi gō
 かわいそうな ʔnī ʔfi dzə / ʔma tɕʰi
 うれしい ʔfi ga tɕə
 幸せな ʔh tci: pwə
 平和な ʔfi de mwə
 悲しい ʔxuu:
 精通した ʔkē ʔha ʔkwə nə
 親切な ʔtō nə / ʔtō dō
 嫌な ʔma ʔfi gu: twə / ʔn dzə ʰ dze: twə
 単独の ʔrō rō
 崖の多い ʔfi ze ɕʰa
 近所の ʔh ta? pwə
 まあまあ ʔtʂʰo: twə
 珍しい ʔn tʰō ʔma nō tʰə

動詞

愛する ^{fi} ga	変える ^{fi} dzø
好きだ ^{fi} ga	病気である ʼna
固定する ^h tʂoʔ / ^h xuʔ	繕う ʼtuʔ
淹れる ^h ku:	補修する ʼɿe
抜く ^{fi} bi:	拭く ʼtʂejʔ
耕す ^{fi} mwə	なぞかけをする ^h ts ^h eʔ
壊して開ける ʼpə ^{fi} gwə	答えを当てる ⁿ t ^h joʔ
整理する ʼpə ^h tʂō ʼpə ruʔ	裁断する ʼna
振る ^h ʂa / ^{fi} joʔ	踏む ʼdzə
負ける ʼʂe	参加する ʼʂoʔ
拝む ⁿ dzø:	隠す ^{fi} ba
引っ越す ʼtɕ ^h ō ^h po:	縫い目を解く ^h ciʔ
移動させる ^h po: / ʼlɔ	粉碎する ⁿ duʔ
助ける ʼruʔ ʼjeʔ	手で支える ^h tɕō
結ぶ ^h pjō	撒く ʼɕ ^h ə
包む ʼpo	混ぜる ^h ɕe ^h twə
秘密を守る ^h sō ts ^h aʔ	ねじる ^h tuʔ
保護する ^h sō	大食いする ^{fi} duʔ ji tɕə ŋō
満腹になる ⁿ dʂ	味わう ʼtʂ ^h a:
抱く ʼpō	弁償する ^{fi} du: ʼɕi:
掘る ^{fi} zuʔ	歌う ^{fi} jō
むく ʼriʔ	騒ぎたてる ⁿ də ts ^h a: ^h tsoʔ
はぐ ʼrejʔ	炒める ʼŋōʔ
剥げる ʼrejʔ tu: ʼsaʔ	けんかする ⁿ də ts ^h a: ^h tsoʔ
暗唱する ʼpej	沈む ^{fi} doʔ
背負う ʼmaʔ	量る ^{fi} dza: ʼts ^h eʔ
比べる ʼts ^h e	ほめる ^h tujʔ
閉ざす ^h tsō	支える ^h ɿ
編む ^h ɿa	傘を開く ^m p ^h i:

完成する ʰzu?
 盛る ʰlo?
 持ちこたえる ʰloʔ ʰtʰuʔ
 清める ʰto raʔ
 食べる ʰtʰa
 撒き散らす ʰdzoʔ
 ほとばしる ʰja pwo ʰtʰo
 持ち出す ʰtʰo ʰhoʔ
 タバコを吸う ʰje ʰtʰo
 鞭打つ ʰdʰ
 出る ʰho sʰo
 取り出す ʰtʰo lo
 日が昇る ʰni ma ʰh:
 出てくる ʰho zuʔ
 掘り起こす ʰŋa / ʰbi:
 召し上がる ʰcu:
 着る ʰkwē
 履く ʰkwē
 穴に通す ʰtsʰ
 穴が開く ʰm pʰoʔ
 伝承する ʰtje
 伝染する ʰm pʰu:
 吹く ʰpu:
 吹き飛ばす ʰpʰu: ʰtwə
 打つ ʰdʰ
 殴る ʰtsʰoʔ
 刺し傷が痛む ʰzi:
 急ぐ ʰm pʰi:
 よじる ʰki:
 間違う ʰnu:

答える ʰja: ʰcə:
 ぶつ ʰdʰ
 身振りで表す ʰaʔ ka: ʰjoʔ
 狩をする ʰtʰe ʰe ʰzʰ
 撃つ ʰŋə ʰda ʰdzʰoʔ
 当てる ʰm pʰuʔ
 けんかする ʰtə nʰ ʰtʰoʔ
 散らかす ʰkʰa kʰa: ʰcʰə
 分ける ʰnə mō ʰdu: ʰcʰə
 引いてくる ʰtʰsu
 薪拾いをする ʰhēj ʰmā
 賭ける ʰma:
 居眠りする ʰjo: ʰlu:
 あくびする ʰhjo: hu:
 開ける ʰcʰə
 雷が鳴る ʰjoʔ ʰjeʔ
 持ち歩く ʰkʰo:
 戦争に行く ʰmaʔ ʰdzēj
 結び目を作る ʰde: dzə ʰdejʔ
 くしゃみする ʰa tʰh i lej
 世話をする ʰtsʰaʔ
 導く ʰkʰeʔ
 かぶる ʰkō
 身につける ʰkwē
 生まれる ʰtə
 遅れる ʰge: raʔ
 さえぎる ʰkwaʔ
 倒れる ʰlū
 倒す ʰm pʰi:
 つき砕く ʰdʰ

裏返す ʼtsʰə ^{fi} dzuʔ	隠れる ʼkoʔ
着く ʼpejʔ	切り分ける ʼhʰtsoʔ
得る ʼnʰuʔ	印を押す ʼçʰa / ʼfi ^{fi} doʔ
待つ ʼfi ^{fi} goʔ	飢える ʼhʰtuʔ
地が震える ʼsʰa ʼŋ ^ŋ gɯŋ	押しつける ʼhʰtciʔ ^{fi} ne:
頭を下げる ʼŋ ^ŋ gwə ^h tsa: ʼfi ^{fi} go:	起こる ʼhʰtci ^{fi} ji tci nə
うなずく ʼŋ ^ŋ gwə ^h fi ^{fi} joʔ	発展する ʼnaj tʰsʰa ʼreʔ
点火する ʼŋə ʼso:	怒る ʼŋi kʰa
燃える ʼm ^m bu:	誓う ʼfi ^{fi} na: hʰtəə
灯す ʼso:	身震いする ʼn ⁿ di:
詰め物をする ʼhʰi	発酵する ʼfi ^{fi} ŋi:
しおれる ʼhʰcoʔ	熱がある ʼtsʰa: hʰtəə
ほおぼる ʼŋ ^ŋ dzeʔ	心配する ʼfi ^{fi} doʔ hʰtəə
落ちる ʼsaʔ	発芽する ʼhʰpɯŋ / ʼm ^m bo:
吊るす ʼfi ^{fi} zi:	翻す ʼtsʰə ^{fi} dzoʔ
釣る ʼtʰsɔ	振り返る ʼle: pɯə ʼtsʰə ^{fi} dzoʔ
転ぶ ʼfi ^{fi} joʔ	つむぐ ʼhʰki:
重ねる ʼhʰtʰsaʔ	放置する ʼzaʔ
嘸みつく ʼŋ ^ŋ dzeʔ	入れる ʼhʰtoʔ
叩き入れる ʼfi ^{fi} doʔ	放牧する ʼfi ^{fi} zej nʰtsʰwə
なくす ʼtu: raʔ	火をつける ʼŋə ʼso:
理解する ʼçʰi:	飛ぶ ʼfi ^{fi} dī
凍る kʰē	分かち合う ʼfi ^{fi} gwə
動く ʼhʰçɑ:	分家する ʼtçʰō ʼfi ^{fi} gwə
読む ʼn ⁿ dēj	分離する ʼkʰa kʰa: ʼçʰə
ふさぐ ʼn ⁿ dzɔ	分かれさせる ʼkʰa kʰa: ʼçʰə ^{fi} dzoʔ nə
渡る ʼfi ^{fi} gi:	狂う ʼŋ ^ŋ wə
切れる ʼhʰtʰseʔ	縫う ʼtʰsuʔ
折る ʼhʰtʰseʔ	塗る ʼhʰlɛ
積む ʼhʰpō	孵る ʼzaʔ / ʼxwa

手を置く	ʃə ^h tɕū huʔ	閉める	ʰtjəʔ
適合する	ⁿdzwə	囲い込む	ʃkwa
適合させる	ⁿdzwə ^h tʃsuʔ	管理する	ʃkwa
腐る	ʃre:	灌漑する	ʰtoʔ
かぶせる	ʰkəʔ	跪く	ʃpi: mwə ^h tsəʔ
かぶる	ʰkəʔ	転がる	ⁿjə ^h lej ʃjeʔ
乾く	ⁿkɔ	年越しする	ʃwə ^h sɿ: ʃsɿ:
喉が渴く	ⁿkɛ	渡る	ⁿfi:gi:
働く	ʃle: ⁿgej	経る	ⁿfi:gi:
市場へ行く	ʃtsō nə ⁿgwə	恥ずかしがる	ʃkʰi:
風邪を引く	ʃrō ʃna	怖がる	ʰcaʔ
あえてする	ʰpuʔ	呼ぶ	ⁿmbeʔ
言う	ʰʃeʔ	叫ぶ	ⁿmbeʔ ^h keʔ
告訴する	ⁿfi:deʔ cuʔ	飲む	ⁿtʰɔ
切り分ける	ⁿna	適切である	ⁿdzə ⁿ dzəʔ
切ってしまう	ⁿna tə ^h tʃeʔ	閉じる	ⁿʃə ^{fi} djəʔ
刈る	ⁿfiŋa	うらむ	ʃma ^{fi} gu:
隔てる	ʃpʰə kʰa	なだめる	ʃkʰə ʃjeʔ
与える	ʰtjeʔ	こぐ	ʃcoʔ
ついて行く	ʃkə ^{fi} tɿ ⁿgwə	描く	ʃhwa
耕す	ⁿfi:mwə	身ごもる	ⁿtʰkʰo:
つるす	ʰkəʔ	疑う	ⁿfi:diʔ ʃmə zō
いっぱいである	ⁿtʃʰuʔ	払い戻す	ⁿhtsoʔ ^h tjeʔ
計る	ⁿtsʰəj jeʔ / ⁿtsʰəj ^h tsə	返却する	ʃkə ^h tjeʔ
雇う	ⁿfi:la	交換する	ⁿfi:dzə
剃る	ⁿhlejʔ	振る	ⁿfi:joʔ
風が吹く	ⁿfi:lō ʃjeʔ	帰る	ⁿtsʰə ⁿgwə
つるす	ⁿsə ^{fi} zɿ:	思い出す	ʃtɛ
電気を消す	ⁿsə ^h seʔ	破壊する	ⁿnɛ ^{fi} zwə
関心を持つ	ⁿfi:zō mwə ʃjeʔ	できる	ⁿʃʰi:

混ぜる ʼtsʰə̃ ɲuʔ	猫が鳴く ʼʔa lju ʰkeʔ ʔjeʔ
攪拌する ɲuʔ	ロバが鳴く ʼtɕu: ʰmba
生きている ʰiɮ:	馬が鳴く ʰta ji ʰmba
支える ʰswə	牛が鳴く ʰpa ji ʰmba ʰkeʔ
手に入れる ʰnʰuʔ	犬がほえる ʼtsʰə̃ ʼsəʔ
水で混ぜる ʰi zɔ̃	ぶたが鳴く ʰpʰaʔ ji ʰmba
集まる (水が) ʰsuʔ	羊が鳴く ʼlɔʔ ji ʰmba
積もる ʰsuʔ	トラがほえる ʰtaʔ ji ʰmba
集合する ʰnɮ:	狼がほえる ʰɕɔ̃ ʰchə ʔjaʔ
搾り出す ʰtɕsɔ:	呼ばれる ʰmbɛʔ
搾る (乳を) ʼzɰə	剥く ʼɕʰə
はさむ ʰtɕo:	実がなる ʼɕʰu: tuʔ ʰnʰaʔ
覚えている ʔɛ̃	結氷する ʰi joʔ kʰɛ̃
預ける ʰtɕij raʔ	結婚する ʼpā ʔjeʔ
送る ʰko:	ほどく ʼpʰə ɕʰə
うらやむ ʼne wə̃ ʰmə̃ ʰnɮuj	お金を借りる ʰi ɲuj ʔju:
締めつける ʰtɕɛ̃j	ものを借りる ʼla: tɕʰe ʔju:
はさむ ʰdzɔ̃	浸す ʰbā
選び出す ʰnʰu	禁じる ʰkwaʔ
減らす ɲɔ̃	浸す ʼsɛ̃
はさみで切る ʔtaʔ	入る ʰnɮej
語る ʰɕeʔ	過ぎる ʰgi:
落ちる ʼpəʔ / ʼsaʔ	びっくりする ʰlɮuʔ
交換する ʰi dzə̃ ʰi dzə̃ ʔjeʔ	救う ʰtɕuʔ
交わる ʰi dzə̃	住む ʰi djeʔ
水を引く ʼtɕʰu ʰtoʔ	拳げる ʰtɕɔ̃
こげる ʰi tɕʰiʔ	のこぎりで切る ʰsʰo lɰə̃ ʰna
噛む ʰtɕsaʔ	完全に ʰnɮɔ̃
教える ʰi ʔɔ̃ʔ	巻く ʰi dzɰi:
鳥が鳴く ʰɕa ji ʼsɰ:	縮む ʰi kʰə̃ʔ xʰu: ʔjeʔ

掘る hkwə
 邪魔する ${}^hhu?$
 邪魔させる ${}^hhu? tʃo?$
 開ける ${}^c^hə$
 沸く ${}^h_k^ho:$
 開く xwa
 運転する htō
 始める ${}^hgo^hgu:$
 開墾する ${}^sēj^hi zwə / {}^s^ha^htō^hi mwə$
 切り倒す ${}^htʃe?$
 切る ${}^htso?$
 見る hta
 見せる htē
 見える ${}^nt^hō$
 医者に見せる ${}^ne: {}^hta / {}^mē ba {}^hta$
 かつぐ ${}^htʃa?$
 暖める ${}^hi ge:$
 頼る ${}^x^ha: / {}^t^hje?$
 ぬかずく ${}^c^ha? {}^mp^hi:$
 咳をする ${}^ʔa x^hū le:$
 渴く ${}^k^ha^hkō / {}^hkō$
 刻む hkwə
 賛成する ${}^ndu?$
 かじる ${}^ndē?$
 ほじくる hkwə
 ボタンをかける ${}^hi bej dzi {}^x^hu?$
 暇である ${}^k^hō$
 泣く hju
 眠たい ${}^htʃe:$
 引く ${}^nt^hi$

排泄する ${}^lje?$
 辛い ${}^tē^hi / {}^hi go mwə {}^tē^hi$
 漏れる lej
 来る ${}^shu?$
 引っ張りあげる htʃō
 年をとる ${}^hi ge:$
 手綱で制御する ${}^hi li: / {}^hga?$
 疲れる ${}^htʃe?$
 つなぐ ${}^nt^hi?$
 量る ${}^tʃe?$
 乾かす hkō
 おしゃべりする ${}^mp^hi le: {}^hi dzə?$
 裂く ${}^hge:$
 ずぶぬれにする ${}^sɿ:$
 流れる ${}^hpə?$
 とっておく ${}^zə?$
 耳が聞こえない ${}^na wē$
 抱きしめる pō
 漏らす ${}^sa?$
 混乱する ${}^cə {}^shio mo lo^hi zwə$
 濾す ${}^htsa?$
 乱す ${}^nu?$
 転がす ${}^pej? / {}^p^hu:$
 積み重ねる ${}^htsa?$
 日が沈む ${}^hi nō la? {}^nu?$
 しびれる ${}^ts^ho: zə {}^ne$
 叱る ${}^ndzə:$
 埋める ${}^hi ba$
 買う hwa
 売る ${}^nt^shō$

満ちる	ʔkō	木を切る	ʔ ^h ɛj ^h ʔ ^h ʂaʔ
ない	ʔməŋō	浮く	ʔ ^{fi} dī
隠蔽する	ʔ ^ŋ gwə ^ŋ t ^h ō ^ŋ ʔjeʔ	ほとぼしる	ʔ ^m p ^h u
燃え尽きる	ʔ ^h seʔ	破れる	ʔ ^{re} :
さえずる	ʔ ^h keʔ ^ŋ iʔ	壊れる	ʔ ^h tʂaʔ
唇を軽く閉じる	ʔ ^h tsō	傷つく	ʔ ^{re} :
理解する	ʔ ^h a ^ŋ kwə	壊れる	ʔ ^{fi} geʔ
触れる	ʔ ^{ra} ʔ	壊す	ʔ ^h tʂaʔ
研ぐ	ʔ ^{fi} di:	解剖する	ʔ ^{na}
粉をひく	ʔ ^h taʔ	敷く	ʔ ^{hi}
つかむ	ʔ ^{fi} lō	手荒く扱う	ʔ ^h ɔʔ
持っておく	ʔ ⁿ t ^h uʔ	だます	ʔ ^h l ^o ʔ
掻く	ʔ ^ɕ hiʔ ^ŋ giʔ	レンガで造る	ʔ ^h tsaʔ
できる	ʔ ^{ts} huʔ	乗る	ʔ ^h tɕa
枯れる	ʔ ^{fi} ni:	起きる	ʔ ^{fi} ə ^l ō
凝固する	ʔ ^h i	牽引する	ʔ ^h kiʔ
絞る	ʔ ^h tʂō	負う	ʔ ^{fi} du:raʔ
嘔吐する	ʔ ^h tɕuʔ	略奪する	ʔ ^h x ^h uʔ
這う	ʔ ⁿ dzaʔ	叩く	ʔ ^{fi} dō
山に登る	ʔ ⁿ dzaʔ	振り上げる	ʔ ^h tɕaʔ
木に登る	ʔ ^h ɛj ^h pō ⁿ dzaʔ	詮索する	ʔ ^h tɕaʔ
叩いて音を出す	ʔ ^{fi} lōʔ	切り刻む	ʔ ^h tuʔ
派遣する	ʔ ^ŋ waʔ	口づけする	ʔ ^o ʔjeʔ
弧を描く	ʔ ^ŋ k ^h u:	軽んじる	ʔ ^h ta ^ŋ rēj ^h ma ^ŋ tʂ ^h uʔ
走る	ʔ ^{fi} dzoʔ	要求する	ʔ ^h ka ^ŋ rē ^{fi} pō
茶を入れる	ʔ ^{ts} a ^{fi} bā	追い出す	ʔ ^ŋ aaʔ
賠償する	ʔ ^{ts} h ^o ʔ ^h tjeʔ	取る	ʔ ^{fi} lō
身につける	ʔ ^h taʔ	娶る	ʔ ^p ā ^h kiʔ
膨張する	ʔ ^{fi} dzoʔ	行く	ʔ ^h ō/ ^ŋ gwə
衝突する	ʔ ^m p ^h uʔ/ ^{fi} də ^{fi} dō ^ŋ ʔjeʔ	回復する	ʔ ^s ō

完全である ʔs^hɔ
 染める ʔɕwə
 叫ぶ ʔ^mbaʔ
 道を譲る ʔlɔ^hci: / ʔlɔ^hwā
 温める ʔs^ha
 知り合う ʔŋwə ʔ^hi:
 投げる ʔ^hiɔʔ
 溶ける ʔsej
 溶かす ʔ^hse: ʔsɔʔ
 もむ ʔ^hʔsɔ^h / ʔ^hiɔʔ
 耐える ʔ^hi gō ts^haʔ
 なめす ʔ^hi nə / ʔ^hi niʔ
 撒く ʔ^hto
 小便する ʔ^hʔsɛj ʔ^htō
 播種する ʔ^htoʔ
 解散する ʔ^hɔ^hɔʔ
 ゆるめる ʔ^hiɛjʔ
 掃く ʔ^hiɔ: ʔ^haʔ
 殺す ʔ^hsejʔ
 ふるいにかける ʔ^hɔ
 日にさらす ʔ^hkɔ
 日向ぼっこする ʔna: ʔ^hi geʔ
 稲光が走る ʔ^hɔʔ ʔ^hɔʔ ʔ^hloʔ
 傷つける ʔ^hma
 相談する ʔko xa ʔjiʔ
 上がる ʔjə ʔ^hi gō ʔ^hgwə
 射る ʔ^hiɔʔ
 射止める ʔ^mp^huʔ
 伸ばす ʔ^htcɔ
 伸びる ʔrɛj bwə ʔ^htcɔ

成長する ʔ^hɔ^hɔʔ
 さびる ʔ^hʔsɔ: ja ʔ^hiɔjeʔ
 腫れ物が大きくなる ʔ^hma ʔpejʔ
 産む (人が) ʔ^htcɔ
 腹を立てる ʔ^hni k^ha
 残される ʔ^hɔʔ
 昇る ʔ^hɔ:
 なくす ʔjə ʔ^hɔeʔ
 させる ʔ^hʔsɔʔ
 釈放する ʔrɛjʔ raʔ / ʔpuʔ raʔ
 試す ʔ^ha nɛ ʔ^hta
 である ʔreʔ
 収穫する ʔ^hiŋa
 受け取る ʔ^hpej ʔɔ
 閉じる ʔ^hɔ raʔ
 防御する ʔroʔ
 守る ʔ^hsɔ
 髪をとく ʔ^hɔeʔ
 負ける ʔ^hɛ
 顔見知りである ʔŋwə ʔ^hi:
 調理される ʔ^hɔ^hɔ:
 熟れる ʔ^hni
 やせる ʔ^hɛ
 数える ʔ^hiɔ
 ゆすぐ ʔ^hɔ^hu
 衰える ʔ^hɔ be ʔ^hɔ ʔ^hɛ
 転落する ʔsaʔ / ʔ^hiɔʔ
 投げる ʔ^hiɔʔ
 かんぬきをする ʔ^htjəʔ / ʔ^hts^hɔ pe: ʔ^hiɔʔ
 結びつける ʔ^htaʔ

眠る	ʃjoʔ	跳ねる	^h dzõ rēj ^m p ^h o:
寝つく	ʃjoʔ ^h luʔ	脈打つ	^h ɑ: h ^h tsa ^m p ^h o:
吸う	^h dʒuʔ	拍動する	^h ĩ ^m p ^h o:
話す	^h ʃeʔ	貼る	^h l̥ē
裂く	ʃə:	聞く	ʃnē
死ぬ	^h ə	聞こえる	^h ts ^h u:
計算する	^h jõ / ^h tsə	止める	^h zɑʔ
粉碎する	ʃce:	知らせる	^h õ tʃə ʃeʔ
傷つける	^m p ^h ja:	盗む	^h ku
錠をする	^h go x ^h ɔʔ ^h tsɑʔ	投げる	^h jɔʔ
崩壊する	^h duʔ	吐く	^h pu:
踏みつける	^h dzə	押す	^m p ^h i:
持ち上げる	^h tcaʔ	退く	ʃnõ
涙を流す	^h ni: tʃ ^h u ʃpɔʔ	飲みこむ	ʃniʔ
横になる	ʃjoʔ	引きずる	ʃtuɰʔ
やけどする	^h saʔ	脱臼する	ʃpejʔ / ^h luʔ
逃げる	ʃyu:	背負う	^h ki:
物乞いする	^h l̥õ	掘る	^h kwə
着る	kwē	曲がる	^h gɔ:
頭痛がする	^h gwə ʃna	曲げる	^h gu ^h gɔʔ
蹴る	^h du: t ^h uʔ ʃɔʔ	終わる	ʃt ^h ũ
剃る	^h zɰ:	遊ぶ	^h ts ^h ɔ
曇りである	^h nõ ʃmuʔ	忘れる	^h dʒeʔ
晴れる	^h nõ ʃtõ	違反する	ʃmə nē tə ^h zwə / ʃme: nə ʃeʔ
夜が明ける	^h nõ ^h ci:	餌をやる	ʃejʔ
暗くなる	ʃmuɰ ʃnaʔ	におう	^h nõ
なめる	ʃcuʔ	尋ねる	ʃə
担ぐ	^h tcaʔ	握る	^h zõ
選ぶ	^h ɰ:	ふさぐ	^h koʔ
踊る	ʃts ^h ə laʔ ^h dõ	吸い込む	^h tĩ

慣れる ʼcō
 洗う ʼcʰu
 好む ʼfi ga / ʼfi gu:
 目が見えない ʼfi ni? ʼlō
 下りる ʼhke: ʼpō?
 産む (動物が) ʼŋkʰe:
 卵を産む ʼfi gō
 雨が降る ʼtʂʰe fia ʼpō?
 怖がらせる ʼhku?
 陥没する ʼfi nō?
 捧げる ʼhʲe? / ʼm pʰi:
 慕う ʼfi dō? hku: ʼh sō
 信じる ʼfi dē h sō
 思う ʼtʂ
 思い出す ʼtʂ ʼfiō
 したいと思う ʼh sō
 似る ʼn da
 消化する ʼsej
 消える ʼma nʰō re?
 下る ʼŋ gu?
 削る ʼhʲej?
 気をつける ʼcɯ: tsʰa? ʲji?
 笑う ʼfi ga
 書く ʼci:
 下痢する ʼta?
 目覚める ʼsʰe?
 恥ずかしがる ʼkʰi? cʰe:
 休む ʲji: hswə
 刺繍する ʼh ʲsuʲ?
 学ぶ ʼfi zō

燻製にする ʼfi rō
 探す ʼh tci:
 押さえる ʼfi nōj
 去勢する ʼtʂʰo:
 粉にする ʼfi zwə
 かゆい ʼxʰō?
 育てる ʼhswə
 揺れる ʼfi jō?
 揺する ʼfi jō?
 噛む ʼn dej?
 掬う ʼh ʲsu
 必要である ʼfi ge:
 引き入れる ʼkʰi?
 頼る ʼhʲe
 あふれる ʲpō kʰə
 秘密にする ʼh sō tsʰa?
 勝つ ʼtʂa?
 迎える ʼh su
 抱擁する ʲpō
 泳ぐ ʲtʂʰa h tci ʲji?
 持っている ʲjō?
 いる ʼn dō?
 存在する ʲjō?
 出会う ʼxʰu:
 合意する ʲtʂʰe? ʼfi zwə
 計画する ʲtʂʰa: zə
 越える ʼfi ge:
 めまいがする ʼŋ gwə ʼŋ kʰu:
 許可する ʲjō tō? ʲtʂʰu?
 栽培する ʼh tsō?

いる	ⁿ dɔʔ	腫れる	^h cɔ̃
増える	ˈŋəj ^h tɔʔ	煮る	^h tswə
彫刻する	ˈm ^h p ^h ɔʔ	杖をつく	ˈp ^{hi} ŋ ^{hi} ga ^h tsɔʔ
刺す	^h soʔ	願う	ˈŋɛ̃lā ^h tɔʔ
刺しこむ	ˈna/ ^{fi} dzə	ひっつかむ	^{fi} zɔ̃
瞬きする	ˈpa ^{hi} dɔʔ	振り返る	ˈɕ ^{he} li ^h ku:
抽出する	^h tuʔ	角を曲がる	^h tɕeʔ ^{hi} go: ɔʔ
摘む	^h tuʔ	移動する	^{hi} k ^h u:
立つ	ɔ̃	移動させる	ˈɕ ^{he} li ^h ku:
引っ張って開く	^{fi} dɔ̃	詰める	^h tsɔʔ
大きくなる	^{hi} ɕ ^h oʔ	追いかける	ˈŋaʔ
かさが増す	^{hi} ɔʔ	準備する	ˈtsa ^{hi} zə ^h tɔʔ
腹が張る	ˈpa ^{po} ^{fi} bi:	捉える	^{fi} zɔ̃
火をつける	ˈnə ^m bu:	ついばむ	^h tsɔʔ
風邪を引く	^{hi} tɕ ^h aʔ	行く	^{hi} gwə
召集する	ˈts ^h ə ^m bejʔ	呪う	ˈɕe ^h tɕiʔ
探し出す	ˈnəj	中に入る	ⁿ dzej
刺す	ˈsoʔ	穴を開ける	ˈm ^h p ^h oʔ
覆う	^h koʔ	酔う	^{fi} dzə
震える	ˈɕ ^h a	座る	ⁿ dɔʔ
奪い合う	ˈx ^h uʔ	する	ˈjeʔ
蒸す	^h poʔ	夢を見る	^{fi} ŋə ^{lɔ̃} ˈŋə
知っている	ˈha ^{kwə}	商売する	ˈts ^h ə ^{fi} dzɔʔ
織る	^h ɭa	連れる	ˈruʔ ^{jeʔ}
指す	^h tɛ̃	仕方	ˈjeʔ ^h tɔ̃
種をまく	^h tɔʔ		

その他の品詞類

のみならず ^hmi? pa

～を除いて ^hde ^hmi? pa ^hjō

ほとんど ^htsɔ: ze?

もちろん ^h?a ^htswə ^h?a po

たった今 ^htə ra

本来的に ^hwa za

そして ^htci

とても ^hwo nə ^hqa

まだ ^htē

今すぐ ^hdzə wa

～か ^h?a

一緒に ^hlo? lu?

必ず ^hkə zwə ^hjī na ^hjō

～もまた ^hjō

それから ^htī / ^htī kə tci

再び ^hjō

少なくとも ^htə: ^hmī na ^hjō

～まで ^hwə t^hi ^hmī na p^hu / ^hmə re: p^hu

もつとも ^hkē nə

最後に ^hku t^hi ku t^hi

突然 ^hs^ha ts^he: mə